

文部科学省指定事業  
令和4年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」  
(地域魅力化型)

研究開発実施報告書

第3年次



令和5(2023)年3月



東京都立八丈高等学校

全日制課程



### 3年目最終年度の研究開発を終えて

本校は、東京都内地から南に約 300km 離れた八丈島に設置されている唯一の高等学校です。1948 年に東京都立園芸高等学校八丈分校を前身として設立され、1951 年に明治大学付属八丈島高等学校を本校普通科に吸収し、同校の敷地、校舎を譲り受けて分教場とした経緯があります。島内中学生の大半の生徒の進学先であり、令和 2（2020）年度から文部科学省より「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の研究開発校として指定され、八丈島の自然、歴史、文化、産業等についての探究学習を行って、地域の課題解決策を提案し実践する人材、そして、八丈島の島内外から八丈島を支える人材の育成を目指しています。

この研究開発を進めるに当たって、プロジェクト名を「八丈やろごんプロジェクト」としました。「やろごん」というのは、八丈の言葉で「やろう」を意味します。

今年度は指定校 3 年目最終年度でしたが、一昨年からのコロナ禍においても、教員と地域協働学習実施支援員の方々と毎週一回打ち合わせを行うなど、緊密に連携して、知恵と創意工夫を凝らした取組により、授業が進められています。生徒も、八丈島の豊かな自然、歴史、伝統文化等に触れることや、探究学習の成果を八丈町へ提言出来ることの喜びを感じています。

特に今年度は、島内外のコンソーシアムの皆様の御協力の下、第二回目になる「島民会議」を開催し、本校生徒の学習成果の発表の場とさせていただきました。また、都立立川高等学校や Hawaii の Waiakea 高校の御協力によりオンラインを活用するなどして、八丈島の紹介や、学習成果発表、生徒交流が出来たことは大変感謝いたしております。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

また、これまで、全国サミットを開催していただいたことで、全国各地の学校でも本校と同じように、地域との協働事業を進め、試行錯誤しながら奮闘している様子が伺い知れ、とても励みになりました。

結びに、本校では、「地域と協働した探究学習」、「Hawaii 大学 Hilo 校や Waiakea 高校との姉妹校交流を通して、多様な文化や異なる生活様式を学ぶ国際交流」、そして「東京都立大学、東京都立産業技術大学院大学との連携」を学校経営、そして特色ある教育活動の 3 つの柱として「八高魅力化プロジェクト」を推進しております。

「地域と協働した探究学習」は、次年度以降も継続して取り組んでまいります。

今後とも、皆様方からの御指導・御助言をよろしくお願い申し上げます、巻頭の挨拶とさせていただきます。

令和 5（2023）年 3 月 31 日

東京都立八丈高等学校長

佐藤 俊一

# 目 次

I. 八丈やろごんプロジェクト ビジュアル資料	1
II. 研究組織体制、運営指導委員会等の実施状況	
1. 研究組織体制	4
2. コンソーシアム協議会実施要項（第7回～第9回）	5
3. 目標設定シート	11
4. 今年度の教育実践の考察	12
5. 高校魅力化評価システムアンケート結果分析	14
6. 研究開発完了報告書	21
III. 八文学Ⅰ	
1. 八文学Ⅰ～Ⅲ年間予定	30
2. 八文学Ⅰ年間授業計画	31
3. 八丈島の自然	32
4. 八丈島の伝統・文化	33
5. 八丈島の歴史	34
6. フェノロジーカレンダーの制作	36
7. フェノロジーカレンダー（令和4年、令和3年、令和2年）	37
8. 八丈島の宝探し	41
IV. 八文学Ⅱ	
1. 年間授業計画	44
2. 島民会議	45
3. 島民会議資料	47
V. 八文学Ⅲ	
1. 年間授業計画	50
2. 個人研究	51
3. 八文学Ⅲ補足資料	52
VI. 学校設定教科・科目	
1. 郷土文化（郷土芸術・郷土文化実習・海洋文化）	58
2. 保健体育総合	62
3. 教養の社会	64
VII. 私たちの八丈島の歴史・伝統・文化等の系統的な学びの全体計画	
1. 系統的な八丈島の地域学習	68
2. 教科横断的な学習シート	70
VIII. 学校の概要	
1. 学校の概要	74
2. 令和2年度入学生教育課程表（普通科）	75
3. 令和3年度入学生教育課程表（普通科）	76
4. 令和4年度入学生教育課程表（普通科）	77
IX. 資料編	
1. 東京都八丈支庁発行「支庁の風」（記事抜粋）	80
2. 東京都八丈町役場発行「広報はちじょう」（記事抜粋）	82
3. Twitter（記事抜粋）	84
4. 探究フォーラム（発表資料）	86
5. 全国サミット（発表資料）	87

東京都教育委員会・東京都立八丈高等学校（全日制）

令和4年度 地域との協働による高等学校改革推進事業（地域魅力化型）

# 八丈やろごんプロジェクト～八丈島を支える人材を地域とともに育てる～

## 現状1

生徒アンケート結果より

- 『島に戻ってきたい』 58%
- 『**当事者意識の向上**』 72.5%

将来自分の住んでいる地域に役に立ちたい

※やろごんとは八丈言葉で「やろう」という意味



## 現状2



## 運営指導委員会

- 東京都教育委員会
- 八丈町教育委員会

## 地域協働学習実施支援員

- 長田商店
- 製菓やたけ
- 八丈町企画財政課
- あいがえ企画
- 八丈島エコツアーガイド協会

## 島外コンソーシアム

- 東京都立産業技術大学院
- 東京都立第五商業高等学校
- 東京都立芝商業高等学校
- 東京都立立川高等学校
- 日本エコツアーリズム協会
- フェノロジーカレンダー研究会
- 島嶼コミュニティ学会

## カリキュラム開発等専門家

- 帝京大学教育学部増淵達夫教授

## 島内コンソーシアム

- 八丈町
- 東京都八丈支庁
- 東京都教育庁八丈出張所
- 八丈空港ターミナルビル（株）
- 八丈植物公園ビクターセンター

## 【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

『八丈言葉』『職場体験』『お魚教室』『海浜清掃』『環境学習』『八丈太鼓』『シヨメ節』等

学校全体の生徒数（2022年4月1日時点）

学科	1年	2年	3年	計
普通科	41	39	40	120
併合科	5	2	1	8
園芸科				
家政科	3	2	7	12

事業対象学科の生徒数（2022年4月1日時点）

学科	1年	2年	3年	計
普通科	41	39	40	120
併合科				
園芸科				
家政科				



## II. 研究組織体制、運営指導委員会等の 実施状況

## 1. 研究組織体制

### ○ カリキュラム開発等専門家、地域協働学習実施支援員、ティーチングアシスタント

分類	氏名	所属・職
カリキュラム開発等専門家	増渕 達夫	帝京大学教育学部教育文化学科・教授
地域協働学習実施支援員	佐治 渉	八丈町役場企画財政課・主事
地域協働学習実施支援員	大澤 萌	あいがえ企画・代表
地域協働学習実施支援員	大類 由里子	八丈島エコツアーガイド協会・副代表

### ○ 運営指導委員会

氏名	所属・職	備考
茂手木 清	八丈町教育委員会・教育長職務代理者	学校教育に専門的知識を有する者
林 薫	八丈町教育委員会・臨時職員	学校教育に専門的知識を有する者
大沢 力	製菓やたけ・社長	地域産業界関係者
長田 隆弘	長田商店・社長	地域産業界関係者

### ○ コンソーシアム

機関名	機関の代表者名
東京都教育委員会	浜 佳葉子 (教育長)
八丈支庁	池田 大介 (支庁長)
教育庁八丈出張所	永田 史子 (副所長)
東京都立八丈高等学校	佐藤 俊一 (校長)
八丈町役場	山下 奉也 (町長)
八丈町教育委員会	佐藤 誠 (教育長)
八丈島観光協会	田村 真吾 (事務局長)
八丈町商工会	間仁田 聡 (会長)
南海タイムス社	荻田 義之 (社長)
八丈島空港ターミナルビル株式会社	吉田 倫久 (代表取締役専務)
東海汽船株式会社	山崎 潤一 (社長)
東京都立大学総合研究推進機構	堀田 貴嗣 (総合研究推進機構機構長)
文教大学地域連携センター	中島 滋 (学長)
八丈ビジターセンター	高須 英之 (センター長)
フェノロジーカレンダー研究会事務局	田島 幸郎 (事務局長)
八丈太鼓よされ会	奥山 善男 (会長)
八丈島エコツアーガイド協会	大類 由里子 (副代表)
八丈島移住定住促進協議会	内山 江差夫 (理事)
地域おこし協力隊	新井 誠人

## 2. コンソーシアム協議会実施要項（第7回～第9回）

### 第7回コンソーシアム協議会実施要項

#### 1 概要

日 時：令和4年4月27日（水）午後3時30分から午後4時30分  
場 所：東京都立八丈高等学校・会議室  
参 加：本校職員、コンソーシアム、運営指導委員会  
内 容：地域協働年間予定、八丈学年間授業計画、令和5年度以降の地域協働事業について  
《役割分担》

- ①全体進行【教務部】
- ②コンソーシアム連絡・参加者まとめ【地域協働学習実施支援員】
- ③資料作成【教務部、進路部、授業担当】
- ④司会【教務部】

#### 2 配布資料

- ① 次第
- ② 令和4年度地域協働事業体制について
- ③ 令和4年度地域協働事業年間予定表
- ④ 令和4年度八文学Ⅰ、2・3年生総合的な探究の時間年間授業予定
- ⑤ アンケート ※Forms にても配信

#### 3 司会進行【教務】

15:30～	校長挨拶（5分）
15:35～	東京都教育庁挨拶（5分）
15:40～	令和4年度地域協働事業について（10分） ①校内体制の変更 ②年間予定、八文学Ⅰ、2・3年生総合的な探究の時間年間授業予定
16:50～	令和5年度以降の八丈高校地域協働について（25分）【教務部地域協働担当】
16:15～	カリキュラム開発等専門家による指導・助言（オンライン）（10分）
16:25～	諸連絡（5分）
16:30	閉会

#### 4 各分掌の役割分担

##### 4-1 受付準備、【教務部】

- ・以前のコンソーシアム協議会のアンケートを参考にFormsでアンケートを作成する。
- ・期限は5月7日（金）午後5時とし、締切後にアンケートを集計する。

##### 4-2 会場設営【進路部】 【デジタルサポーター】

- ・Teamsにより東京都教育庁・カリキュラム開発等専門家はオンラインで参加する。
- ・PCは1台で配信。
- ・配信をWebexのモニターを見れるようにする。

##### 4-3 記録【生活指導部】

- ・オンラインによる参加者の記録
- ・カリキュラム開発等専門家による、指導・助言の記録

#### 5 当日までの動き

- 4/15(金) 運営指導委員会  
4/18(月) コンソーシアムの案内をコンソーシアム、運営指導委員会へ連絡【教務部地域協働事務局】  
4/19(火) 管理職打ち合わせ  
4/25(月) 事前打ち合わせ（15:30～ 会議室）  
4/27(水) コンソーシアム協議会当日

【参加者】

東京都教育庁	指導部高等学校教育指導課統括指導主事	天野 大輔(オンライン)
東京都教育庁	指導部高等学校教育指導課指導主事	坂本 泰裕(オンライン)
東京都教育庁	指導部高等学校教育指導課指導主事	阿部 惚接(オンライン)
東京都教育庁八丈出張所	副所長	永田 史子
東京都教育庁八丈出張所	指導主事	納 太郎
カリキュラム開発等専門家 運営指導委員会	帝京大学教育学部教育文化学科教授	増渕 達夫(オンライン)
運営指導委員会	八丈町教育委員会	林 薫
協働学習実施支援員	長田商店	長田 隆弘
協働学習実施支援員	八丈町役場企画財政課	佐治 渉
協働学習実施支援員	八丈島エコツアーガイド協会副代表	大類 由里子
島内コンソーシアム	あいがえ企画	大澤 萌
島内コンソーシアム	八丈島空港ターミナルビル株式会社	宮口 和美
島内コンソーシアム	八丈植物公園ビジターセンター 担当係長・センター長	高須 英之
島内コンソーシアム	八丈島移住定住促進協議会理事	内山 江差夫
島内コンソーシアム	八丈島移住定住促進協議会	高橋 晃雄
島内コンソーシアム	リードホテル&リゾート株式会社 代表取締役	歌川 真哉
島内コンソーシアム	地域おこし協力隊	新井 誠人
個人コンソーシアム	八丈レモンフェス	千葉 将太
個人コンソーシアム		浅沼 碧海

【八丈高校】

東京都立八丈高等学校	校長	佐藤 俊一
東京都立八丈高等学校	副校長	町谷 光博
東京都立八丈高等学校	教務部主任	高嶋 幸子
東京都立八丈高等学校	教務部・地域協働担当・地域協働事務局	木村 嘉尚
東京都立八丈高等学校	教務部・地域協働担当・地域協働事務局	神部 智子
東京都立八丈高等学校	八丈学Ⅰ担当	田崎 公理 遠藤 弘
東京都立八丈高等学校	2年総合的な探究の時間(八丈学Ⅱ) 担当	高萩 慶太
東京都立八丈高等学校	3年総合的な探究の時間(八丈学Ⅲ) 担当	鈴木 陽子 加藤 玲奈 高岡 達弥 杉山 翔
東京都立八丈高等学校	教員	

# 第8回コンソーシアム協議会実施要項

## 1 目的

- ・島民会議の実施方法と内容を運営指導委員、コンソーシアムと共有する。

## 2 日時・場所

日時：令和4年11月25日（金）午後3時30分から午後4時30分まで

場所：東京都立八丈高等学校・会議室

## 3 時程 司会進行【教務】

- 15:30～ 校長挨拶（5分）
- 15:35～ 東京都教育庁挨拶（5分）
- 15:40～ 意見交換「島民会議について」【教務部地域協働担当】
  - ①「島民会議」の実施方法説明
  - ②意見交換
- 16:15～ カリキュラム開発等専門家による指導・助言（10分）
- 16:25～ 諸連絡（5分）
- 16:30 閉会

## 4 内容

- ①島民会議の実施方法についての説明
  - ・時程、流れ
  - ・テーマ、概要について
  - ・島民会議グランドルールについて
- ②意見交換
- ③カリキュラム開発等専門家による指導・助言

## 5 役割分担

内容	担当者（敬称略）	備考
全体進行	教務部	
司会進行	教務部	
会場設営	進路部、デジタルサポーター	Teamsにより指導部、増淵教授はオンラインで参加する。 ※設定注意巡回経路なし、自動レコーダー。 ※配信先が複数ある場合は、スペックの高い進路部のPCを借りて配信。 Webexのモニターで配信を見られるようにする。
受付	事務局、地域協働学習実施支援員	
職員玄関掲示物、来校者受付票準備	事務局、地域協働学習実施支援員	
受付名簿チェック表作成	事務局	
職員玄関受付、案内、誘導	事務局、地域協働学習実施支援員	
資料作成	教務部、進路部、授業担当	
「実施要項」作成	事務局	
「参加依頼」作成	事務局	
「次第」作成	事務局	
「実施要項」起案	事務局	
「参加依頼」起案	事務局	
「次第」起案	事務局	
「ご案内メール」QRコードあり→PDFで作成	事務局	
参加者集約	事務局	
アンケート作成（Formsと手書き）	八丈学Ⅱ	以前のコンソーシアム協議会のものを参考に作成

アンケート集計	八丈学Ⅱ	12月2日(金)午後5時を期限とし、締切後に集計
記録(文書)	生活指導部	オンラインによる参加者の記録 カリキュラム開発等専門家による、指導・助言の記録
記録(写真)	教務部、地域協働学習実施支援員	
施設予約	事務局	

## 6 配布資料

- ①次第
- ②参加者名簿
- ③プレ島民会議 記録
- ④プレ島民会議 成果と課題
- ⑤令和4年度島民会議実施要項
- ⑥テーマ・概要
- ⑦スライド資料
- ⑧アンケート ※オンライン(Forms)と手書き回答

## 7 参加者名簿(別紙のとおり)

## 8 当日までの動き

- 10/24(月) コンソーシアムへ案内・参加申し込みを連絡【地域協働事務局】
- 11/10(木) 第5回運営指導委員会
- 11/14(月) 企画調整会議でコンソーシアム実施要項確定版を提示【教務部】
- 11/15(火) 管理職打ち合わせ
- 11/17(木) 資料をコンソーシアムへ連絡【地域協働事務局】
- 11/16(水) 事前打ち合わせ(15:30～ 会議室)
- 11/25(金) コンソーシアム協議会当日

# 第9回コンソーシアム協議会実施要項

## 1 目的

- ・地域協働事業の3年間の成果・課題・今後の展望について運営指導委員、コンソーシアムと共有する。

## 2 日時・場所

日時：令和5年2月3日（金）午後3時30分から午後4時30分まで  
場所：東京都立八丈高等学校・会議室

## 3 時程 司会進行【教務】

- 15:30～ 校長挨拶（5分）  
15:35～ 東京都教育庁挨拶（5分）（オンライン）  
15:40～ 意見交換 テーマ「本校の3年間の地域協働事業の成果検証について」  
【地域協働学習実施支援員】  
① 3年間の地域協働事業の成果・課題・今後の展望についての説明（10分）  
② 協議・意見交換（20分協議、5分共有）  
16:15～ カリキュラム開発等専門家による指導・助言（10分）  
16:25～ 諸連絡（5分）  
16:30 閉会

## 4 内容

- ①3年間の地域協働事業の成果・課題・今後の展望について
- ②意見交換  
成果・課題・今後の展望について
- ③カリキュラム開発等専門家による指導・助言

## 5 役割分担

内容	担当者（敬称略）	備考
全体進行	教務部	
司会進行	教務部	
協議・意見交換	地域協働学習実施支援員	地域協働事業の成果・課題・今後の展望について。協議。
会場設営	進路部 デジタルサポーター	Teamsにより指導部はオンラインで参加する。 ※設定注意 巡回経路なし、自動レコーダー。 ※配信先が複数ある場合は、スペックの高い進路部のPCを借りて配信。 Webexのモニターで配信を見られるようにする。
受付	事務局、地域協働学習実施支援員	
職員玄関掲示物、来校者受付票準備	事務局、地域協働学習実施支援員	
受付名簿チェック表作成	事務局	
職員玄関受付、案内、誘導	事務局、地域協働学習実施支援員	
資料作成	教務部	
「実施要項」作成	事務局	
「参加依頼」作成	事務局	
「次第」作成	事務局	
「実施要項」起案	事務局	
「参加依頼」起案	事務局	
「次第」起案	事務局	
「ご案内メール」QRコードあり→PDFで作成	事務局	
参加者集約	事務局	
アンケート作成（Formsと手書き）	事務局	以前のコンソーシアム協議会のものを参考に作成
アンケート集計	地域協働学習実施支援	2月10日（金）午後5時を期限とし、締切後に集

	員	計
記録（文書）	生活指導部	オンラインによる参加者の記録 カリキュラム開発等専門家による、指導・助言の記録
記録（写真）	教務部、地域協働学習実施支援員	
施設予約	事務局	

## 6 配布資料

- ①次第
- ②参加者名簿
- ③高校魅力化評価システム結果（結果、総合所見）
- ④地域協働事業の成果・課題・今後の展望（全国サミットスライド資料、東京都探究フォーラムポスター）
- ⑤島民会議の総括
- ⑥アンケート ※オンライン（Forms）と手書き回答

## 7 参加者名簿（別紙のとおり）

## 8 当日までの動き

- 1/20(金) 第6回運営指導委員会
- 1/23(月) コンソーシアムへ案内・参加申し込みを連絡【地域協働事務局】  
管理職打ち合わせ
- 2/3(金) コンソーシアム協議会当日

### 3. 目標設定シート

【別紙様式5】

ふりがな	とうきょうとりつはちじょうこうとうがっこう	指定期間	令和2～4
学校名	東京都立八丈高等学校		

#### 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 目標設定シート

1. 本構想において実現する成果目標の設定（アウトカム）							
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標値（年度）	
(卒業時に生徒が習得すべき具体的能力の定着状況を測るものとして、管理機関において設定した成果目標)							
全校アンケートの「島に戻って仕事をしたい」と答える生徒を増やす。						単位： %	
a	本事業対象生徒：		44	43	47	80%（4年度）	
	本事業対象生徒以外：		20	20	20	50	60%（4年度）
目標設定の考え方：本校生徒は島に戻りたいと考える生徒は半数以上だが、多くは「戻りたいが仕事がない」と答える。これは生徒の「八丈で仕事をする具体的なイメージがない」と、自分から仕事をみつけていく」という意識が身につけていないことが原因である。本事業で島に対する「当事者意識」を高めることで、改善していくと考えている。							
(高校卒業後の地元への定着状況を測るものとして、管理機関において設定した成果目標)							
卒業生に対して卒業後2年目のアンケートにおいて、島への就職を視野にいれている者を増やす。						単位： %	
b	本事業対象生徒：		—	—	—	80%（4年度）	
	本事業対象生徒以外：		5	10	—	—	—
目標設定の考え方：定着状況は、八丈の外を経験した生徒への意識調査でわかると考える。成果目標をはかるために、八丈町を連携してアンケートを行う。また、アンケートから島へのUターンを紹介するきっかけとなる。							
(その他本構想における取組の達成目標)							
八丈町立中学校からの都立八丈高等学校への進学率を上げる。						単位：	
c	本事業対象生徒：		92	90	75	95%（4年度）	
	本事業対象生徒以外：		70	85	100	—	—
目標設定の考え方：八丈島には町立中学校3校がある。中学生は島外の高校か八丈高校を選択する。ここ数年は島外を目指す生徒が多かったが、今年から少しずつ八丈高校を選ぶ生徒が増えている。さらに、八丈高等学校から地域興しをすることで、中学校へアピールをして、まず島内の中学生の確実な獲得を目指す。その後は島外の中学生の獲得に目を向ける。							

2. 地域人材を育成する高校としての活動指標（アウトプット）						
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標値（年度）
(地域課題研究又は発展的な実践の実施状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標)						
地域開発に関するコンテスト受賞数。（観光甲子園、マイプロジェクト、高校生CMコンテスト）						単位： 件
a	0	1	0	0	0	5回(令和4年度)
目標設定の考え方：社会科の教員を中心に、地域創生のためのコンテストに参加した実績がある。その経験を生かして、八丈大学の授業を中心として校内でコンテストに取り組む。外側からの評価を受けたことのない生徒の挑戦する機会として参加する。						
(普及・促進に向けた取組の実施状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標)						
島外学習での学校訪問数・テレビ会議を利用した交流の回数。						単位： 回
b	5	5	7	6	5	5回(令和4年度)
目標設定の考え方：具体的に生徒自身が発信をする機会を多く持つ。テレビ会議は昨年から生徒会を中心に三宅高校や大島高校、夕張高校との交流に役立っている。さらに授業で活用することで、多くの学校や自治体に八丈島をアピールする機会とした。						
(その他本構想における取組の具体的指標)						
八丈島フェノロジーカレンダー設置場所。						単位： 箇所
c	0	0	15	20	20	30箇所(令和4年度)
目標設定の考え方：作成したフェノロジーカレンダーは、島外学習で都内学校で説明する資料とする。完成した物は、八丈空港を始め、底土港、島の各公民館、伊豆諸島の各地、都内公民館、などへの設置を検討している。						

3. 地域人材を育成する地域としての活動指標（アウトプット）						
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標値（年度）
(地域人材を育成する地域としての活動の推進状況を測るものとして、管理機関において設定した活動指標)						
全校アンケート調査にある「島を盛り上げていきたい」と答える生徒を増やす。						単位： %
a	10	18	45	64	62	60%（4年度）
目標設定の考え方：八丈島によくなってほしいと考えている生徒は半数以上になるが、自分から何か動きかけようとする生徒は少ない。全島民会議や実際の地域開発を通して、地域開発を自分でできること、地域開発のおもしろさを知ることで、島を変えたいと考える生徒の育成を目指す。						
(その他本構想における取組の具体的指標)						
「全島民会議」の参加者数の増加						単位： 人
d	200	200	—	140	200	350人(4年度)
目標設定の考え方：昨年度まで開催した「八高生版議会」を改良し、町と共同開催の全島民が参加する会議を開催する。これは、他地域で行われている。フォーラムやシンポジウムを参考に、全島民で行い、全島民で八丈町をどのような町にするかを考える機会とする。多くの地域住民の理解が得られれば、参加者は確実に増えると考えている。						

<調査の概要について>

#### 1. 生徒を対象とした調査について

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全校生徒数（人）	146	144	156	127	139
本事業対象生徒数			40	78	120
本事業対象外生徒数			116	49	19

## 4. 今年度の教育実践の考察

### (1) 本事業の目的について

本事業では、以下の二つの目標を掲げている。

- ① 八丈島に戻ってきて、地域を盛り上げる生徒を育てる。
- ② 八丈島の外から、島の良さを発信する生徒を育てる。

そのため、研究開発目標を以下のとおりとしている。

- 「八丈島を支える人材を地域とともに育てる」  
(グランドデザインに基づいた育成すべき生徒の将来像)
- ・目標の実現のために、自主的・主体的に学び続け、自分で道を切り拓ける人物
  - ・社会の変化に対応できる広い視野をもち、率先して動く自立した人物
  - ・地域、歴史、自然、産業、伝統文化に対する深い理解をもち、誇りに思える人物

### (2) 今年度の取組について

#### ア 八文学Ⅰ（1学年）

1学期は八丈島の自然、歴史、文化、産業に関する地域の方からのレクチャーやフィールドワークを通して、八丈島に関する理解を深めるとともに、島の価値や課題を見いださせるために、探究のサイクル（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を用いて探究の基礎学習を行った。また、主体的に八丈島の地域課題に気づかせるため、2学期にフェノロジーカレンダーを作成した。

3学期には、作成したフェノロジーカレンダーを活用して、オンラインによる都内高等学校との交流、および探究活動の普及を図る、訪問発表を行った。年間を通して地域と向き合い、自己理解や地域の特性・課題に気づく力を育成した。

#### イ 八文学Ⅱ（2学年）

八文学Ⅱでは、地域の実態を踏まえたより現実的な探究学習を行い、八丈島の課題解決策の提案を行う島民会議を実施した。1学期には、1学年で行った八丈島に関する基礎的な学びを基に学びを深めるとともに、テーマ設定、フィールドワークによる探究活動を実施した。2学期には、前半にプレ島民会議を実施し、地域に中間報告を行うことで、探究内容に磨きをかけた。また、探究活動を行う過程において、生徒の主権者意識を高めさせる工夫を行った。島民会議では、地域と学校が一体となって、八丈島の未来について考え、地域課題の解決策の提案の場とすることができた。地域課題の解決を図ることを通じて、自己の生き方や島の未来を考えることで、課題発見・解決能力や将来設計能力を育成した。

3学期は、島民会議に参加した島民からの意見を基に個別研究の実験において、課題の実証や実現の可能性を検証し、八文学Ⅲの探究活動へつなげた。

### ウ 八文学Ⅲ（3学年）

八文学Ⅲでは、八文学Ⅰ、八文学Ⅱでの2年間の経験をもとに、自己の将来、八丈島の将来を考え、地域を活性化させる方策について実践を行った。1学期には、自己の将来、八丈島の将来についての考察を深める工夫を実施し、テーマ設定、実験、フィールドワーク等を行った。また、後半には普通科のみでなく、園芸科・家政科との合同中間発表を行い、探究内容に磨きをかけた。2学期には、探究活動のまとめを行い、地域への報告会を行った。個人探究において地域と学校が一体となり、八丈島の将来、開発などを考える場となった。3学期では、3年間の探究学習の経験を後輩へ引き継ぐ活動を行った。3年間の探究学習を通し、自己の将来、八丈島の将来について深く考え、後世は伝える活動を行い、八丈島を支える人材の育成をすることができた。

## （3）今年度の課題と次年度に向けた改善点について

### ア 課題

今年度、八文学Ⅱにおいて島民会議、八文学Ⅲにおいて探究学習報告会を実施し、これまでの成果を外部に伝えることができ、探究活動の課題等に気づくことができた。一方で、探究活動における課題設定や調査方法、データを整理・分析するなど、探究を深めるより一層の工夫が必要である。また、普通科教員がほぼ全員八文学の探究学習に関わることにより、教職員全体の本事業に対する理解は深まってきたが、担当を中心とした全教員でさらに組織的に取り組むことが課題である。コンソーシアムの連携先の本事業への関わり方が様々であったため、事業終了後の持続可能な組織体制を構築する必要がある。

### イ 改善点

来年度は、時間割を工夫することにより、地域へのフィールドワーク・実習の機会を今年度以上に確保したい。また、探究課題について、発表活動を複数回実施することにより、地域の専門家等の助言を定期的に受けられるよう計画することで、生徒の課題意識や理解を深めていく。さらに、全教員で八文学に関して共通認識・理解をつくり、組織的に実践するために、月に1回程度の校内研修などを実施し、共通認識を更に高めていく必要がある。その他、地域協働事業を高校のみだけでなく、地域協働学習実施支援員を中心とした、地域が持続可能かつ主体的に運営する仕組み作りが必要である。

## 5. 高校魅力化評価システムアンケート結果の分析

### (1) 総括表について

特に「主体性」「協働性」に関する指標が、前回調査時から 30.6%と上昇しており、「自主的に調べものや取材を行う」「学校外のいろいろな人に話を聞きに行く」の各項目について、回答が昨年度よりも上昇している。

### (2) 学習活動について

今年度は全国的に、with コロナの状況に入ったことで、フィールドワークなど学校外で学ぶ活動を積極的に実施した。そのため、「学校外のいろいろな人に話を聞く」学習活動が大きく伸び、その伸びの分、他地域平均も上回る結果となった。特に2年生、3年生でこの値が大きく伸びた点は、コロナ禍で様々なことを抑制せざるを得なかった学年に対するリカバリーが図られているという点でも特筆される傾向であると考ええる。

他方で現1年生は、一昨年入学生（＝現3年生）が1年生だった頃よりもこうした学習の頻度が低くなっているため、一見地域と協働した活動は低めかと思いきや、「社会性に関わる学習活動」の値は非常に伸びた。地域に関する学習が、単なる「地域に出る学習」だけでなく、校内での学びにも浸透されているのではと考える。

### (3) 学習環境について

学習活動と同傾向で、社会性に関する学習環境が他地域と比べても高く推移している。一方で、1年生については、「33 挑戦している人がいる」「30 人の挑戦に関わらせてもらえる」といった主体性に属する環境の肯定的回答が、他学年と比べて低い。「21 挑戦を応援する風土」は他学年と比較しても遜色なくあるようなので、実際に動き出す人が不足していると考えられる。何かきっかけになる挑戦者の具体例があると、一気に見通しが開ける可能性があるため、次年度の課題としたい。

### (4) 生徒の自己認識について

昨年と同じく、全体的な傾向として、現2年生の1年→2年の推移でマイナスが、現3年生の2年→3年の推移でプラスの傾向が目立つ。この点に関して、いわゆる「中だるみ」の傾向か、カリキュラム構成が要因であるか検討が必要である。

1年生の社会参画意識や学習意欲が高いが、先に学習環境で見た、挑戦する人がいるという回答者の少なさと合わせると、挑戦することができる環境の課題が残る。

### (5) 大人向け調査について

「31 地域・社会との協働を通して、業務負担感の軽減につながっている。」が非常に低い値となっている。本事業を通して、地域協働を軸とした業務の精選ができていないと考える。今後、地域社会を通して、学校がどのような体制になるのかが焦点となる。

### (6) 全体について

地域との協働による学びが正常化し、かつ、単に学校外に出ていく、というだけではない「地域に関する学び」のあり方が確立されつつあるのではないかと考える。一方で、教職員へのアンケート結果を見ると、地域との協働に関する意識は一枚岩ではない印象も受け、今後の課題である。

## Portfolio of sustainable education and community

### 高校魅力化評価システム 組織診断ポータル

高校名	東京都立八丈高等学校										
年度	2022年度										
回答者数	生徒・学生	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	0				
	(併年度)	91 (内訳)	22	2年生	37	3年生	32	4年生	0	5年生	0
大人		41 (内訳)	教職員	28	大人	28	(内訳)	教職員	16		

【MEMO】

教育目標、育てたい生徒像など

### Summary 総括表

	主体性	協働性	探究性	社会性
① 学習活動	2	3	3	2
② 学習環境	3	3	3	3
③ 自己認識	2	3	2	2
④ 行動実践	3	3	3	2
⑤ ウェルビーイング	2	3	3	2

※前年度調査結果：1.50~4.50%、2.65%~4.80%、3.20%以上4

※前年度調査結果：1.50~4.50%、2.65%~4.80%、3.20%以上4



※上段の数値(%)：縦軸)が肯定的回答割合、下段の数値が平均値



※点線は他地域における肯定的回答割合

【学習環境】「学習環境」読み取り・検討の視点

- ・ 自校の学びや環境、それを推進・変革するための、協働のあり方は？
- ・ 普段から意識して取り組んでいる活動の機会や環境づくりは？その成果は出ているか？
- ・ 協働を支えるコーディネート体制として、どのような役割が必要か？

### How to read 結果の読み取り方

このポータルフォリオでは、以下の5側面、4領域、3軸により、高校と地域の学びの「いま」と「変化」を読み取ることが出来ます。

- 5つの側面を → 各校・地域の状態を、①学習活動、②学習環境、③生徒の自己認識、④生徒の行動実践、⑤ウェルビーイングの5つから把握しています。
- 4つの領域から → 各側面を「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの質質・能力に関する領域に分類しています。
- 3つの軸で → 上記のデータを「時間軸(前年度からの伸び)」「学年軸(学年による違い)」「地域軸(他地域との比較)」の3つの軸で整理しています。

結果に出てくる数字や言葉は次の意味を表しています。

- 各項目で「4, あるいは」 「3, どちらかといえはあてはまる」という肯定的回答をした割合
- 「あてはまらない=1」 ~ 「あてはまる=4」の回答の平均値
- 同じ側面に調査を実施した他校の回答の平均値
- (個人IDで紐づけを行い、複数回調査を実施した割合に表示) 前年と比べて、各領域の回答平均値が上がった回答者の、全回答者に占める割合

【割合 (%)】

【地域軸】

### ①自己認識 (資質・能力の主観的認識)

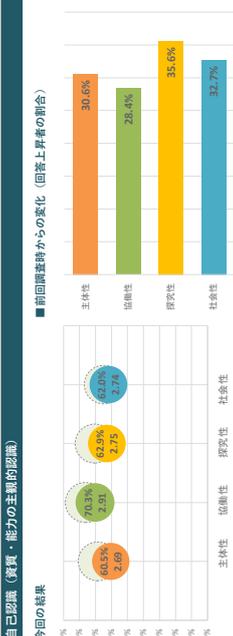
読み・伸びしろ

伸びしろ：肯定的回答割合の伸び率(項目)

- ① 学習活動 88.7% 活動、学習内容について生徒側から話し合う 45.2% 学校外のいろいろな人に話を聞かせる
- ② 学習環境 85.9% 自分から、他校の取り組みや活動の様子を調べたり 57.3% 地域に、参加して、楽しんでいる大人がいる
- ③ 自己認識 85.5% 自分とは異なる意見や価値を尊重することができる 43.5% 地域の問題を解決して考えようとする人がいる
- ④ 行動実践 70.2% 授業や休み時間など、自分から活動したり、仲間と一緒に活動に参加したり 49.2% 地域社会などでボランティア活動に参加したり
- ⑤ ウェルビーイング 75.0% この学校に入ってから変わったと思う 37.1% 日本の将来は明るいと思う



※前年度調査時からの変化(回答上昇者の割合)



※点線は他地域における肯定的回答割合



※点線は他地域における肯定的回答割合

【生徒の自己認識】読み取り・検討の視点

- ・ 普段から意識している、育てたい生徒像や、身につけさせたい力に関する指標の結果は？
- ・ 前年から変化は？その要因として、何が考えられそうか？(学習活動、学習環境と関連付けて)
- ・ 今後、意識して伸ばしていきたいと考える力は？そのために必要なのは「次の一手」は？

### ⑤ウェルビーイング

総合的な大人の満足度

この地域を将来暮らす場所としておすすめできる 75.6%

この学校に関わってよかった 75.6%

この学校を中学生におすすめできる 70.7%



※前年度調査時からの変化(回答上昇者の割合)



※点線は他地域における肯定的回答割合



※点線は他地域における肯定的回答割合

【ウェルビーイング】読み取り・検討の視点

- ・ 学習環境や大人のあり方との関係は？
- ・ 生徒の資質能力との関連は？
- ・ ウェルビーイングの観点から学校目標にどう位置づけしていくか？

Details 詳細結果

① 学習活動 (明示的なカリキュラム)

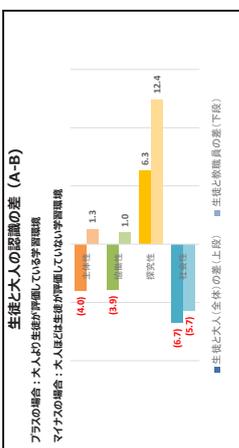
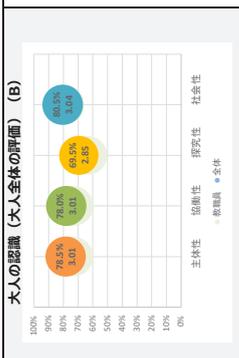
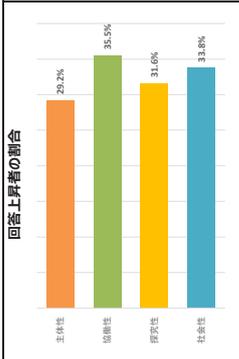
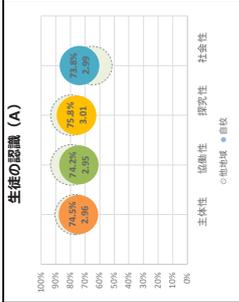
学習活動	全校		1年生 (2022入学生)		2年生 (2021入学生)		3年生 (2020入学生)		4年生 (2019入学生)	
	割合 (%)	差 (pt)	割合 (%)	差 (pt)	割合 (%)	差 (pt)	割合 (%)	差 (pt)	割合 (%)	差 (pt)
全体	59.3%	9.27	53.7%	3.65	62.2%	12.16	63.0%	13.31	-	-
主体性に関する学習活動	73.4%	5.26	75.6%	7.43	67.6%	-0.61	76.1%	13.92	-	-
5 自主的に調べものや取材を行う	45.2%	13.29	31.7%	-0.11	56.8%	24.94	47.8%	12.69	-	-
6 学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	78.2%	-1.99	72.4%	-9.46	75.7%	-6.14	85.5%	8.03	-	-
協働性に関する学習活動	88.7%	0.80	90.2%	-5.21	86.5%	-8.97	89.1%	8.05	-	-
7 グループで協力しながら学習や調べものを行う	88.7%	-2.50	90.2%	-0.67	81.1%	-9.83	93.5%	4.29	-	-
8 活動、学習内容について生徒同士で話し合う	57.3%	-4.28	36.6%	-22.51	59.5%	0.37	73.9%	11.75	-	-
9 活動、学習内容について大人 (教員や地域の大人) と話し合う	71.2%	1.94	70.1%	5.35	68.2%	3.47	74.5%	9.59	-	-
探究性に関する学習活動	62.9%	-5.23	61.0%	-2.66	62.2%	-1.47	65.2%	-2.35	-	-
10 自分の考えを文章や図表にまとめる	81.5%	6.73	80.5%	1.31	86.5%	18.30	78.3%	5.29	-	-
11 話し合った内容を発表する	76.6%	4.09	75.6%	11.97	64.9%	1.23	87.0%	13.98	-	-
12 活動、学習のまとめを発表する	63.7%	2.17	63.4%	-0.22	59.5%	-4.18	67.4%	21.45	-	-
13 生徒同士で活動、学習の振り返りを行う	63.4%	7.03	64.2%	9.68	57.7%	3.11	44.4%	67.4%	-	-
社会性に関する学習活動	70.2%	9.72	73.2%	14.08	62.2%	3.07	73.9%	17.16	-	-
14 地域の魅力や資源について考える	70.2%	11.92	73.2%	23.17	59.5%	9.46	76.1%	16.63	-	-
15 地域の課題の解決方法について考える	50.0%	-0.55	46.3%	-8.20	51.4%	-3.19	52.2%	17.04	-	-
16 日本や世界の課題の解決方法について考える										

※3年生、4年生の回帰上昇率(注)は上昇率が1以下(確認)は下り



② 学習環境（学びの土壌：非明示的なカリキュラム）

10pt以上の増加 ● 0~10ptの増加 ○ 減少 ●	生徒の認識 (A)		回者上昇者の割合		大人の認識 (大人全体の評価) (B)		生徒と大人の認識の差 (A-B)		生徒と大人の認識の差 (A-B)								
	割合(%)	差(p)	1年生	2年生	3年生	4年生	全体	昨年度との差	割合(%)	差(p)	全体	昨年度との差	割合(%)	差(p)	全体	昨年度との差	
●	74.5%	-2.43	29.2%	70.7%	80.2%	-	78.5%	20.87	73.2%	14.46	73.2%	14.46	73.2%	-4.0pt	1.3pt	14.46	-
○	71.8%	1.44	29.2%	62.2%	80.4%	-	73.2%	26.74	67.9%	24.11	67.9%	24.11	67.9%	-1.4pt	3.9pt	24.11	-
○	83.1%	-5.95	22.8%	82.9%	87.0%	-	80.5%	5.49	75.0%	0.00	75.0%	0.00	75.0%	2.6pt	8.1pt	0.00	-
○	78.2%	-5.29	29.8%	68.3%	82.6%	-	85.4%	35.37	82.1%	32.14	82.1%	32.14	82.1%	-7.1pt	-3.9pt	32.14	-
○	57.3%	-0.98	28.1%	58.5%	60.9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	63.7%	3.27	36.8%	48.8%	64.9%	76.1%	63.4%	24.13	53.6%	9.82	53.6%	9.82	53.6%	0.3pt	10.1pt	9.82	-
○	83.1%	-7.05	26.3%	75.6%	87.0%	-	80.5%	12.63	75.0%	6.25	75.0%	6.25	75.0%	2.6pt	8.1pt	6.25	-
○	83.9%	-	-	75.6%	83.8%	91.3%	87.8%	-	-	-	-	-	-	-3.9pt	-1.8pt	-	-
○	75.0%	0.80	-	75.6%	73.0%	76.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○	74.2%	0.29	35.5%	71.3%	70.9%	79.3%	78.0%	16.44	73.2%	16.96	73.2%	16.96	73.2%	-3.9pt	1.0pt	16.96	-
○	71.0%	-0.46	29.8%	70.7%	67.6%	73.9%	75.6%	22.04	67.9%	17.86	67.9%	17.86	67.9%	-4.6pt	3.1pt	17.86	-
○	73.4%	-1.34	31.6%	70.7%	70.3%	78.3%	80.5%	9.06	78.6%	16.07	78.6%	16.07	78.6%	-7.1pt	-5.2pt	16.07	-
○	79.0%	-0.09	36.8%	75.6%	75.7%	84.8%	80.5%	12.63	78.6%	16.07	78.6%	16.07	78.6%	-1.5pt	0.5pt	16.07	-
○	73.4%	3.06	43.9%	68.3%	70.3%	80.4%	75.6%	22.04	67.9%	17.86	67.9%	17.86	67.9%	-2.2pt	5.5pt	17.86	-
●	75.8%	-1.67	31.6%	71.3%	75.7%	79.9%	69.5%	25.76	63.4%	19.64	63.4%	19.64	63.4%	6.3pt	12.4pt	19.64	-
○	75.0%	2.47	38.6%	65.9%	73.0%	84.8%	58.5%	29.97	42.9%	30.36	42.9%	30.36	42.9%	16.5pt	32.1pt	30.36	-
○	75.0%	-7.42	28.1%	73.2%	73.0%	78.2%	61.0%	21.69	50.0%	6.25	50.0%	6.25	50.0%	14.0pt	25.0pt	6.25	-
○	79.8%	-1.48	24.6%	80.5%	80.4%	-	85.4%	13.94	89.3%	8.04	89.3%	8.04	89.3%	-5.5pt	-9.4pt	8.04	-
○	73.4%	-0.24	35.1%	65.9%	78.4%	76.1%	73.2%	37.46	71.4%	33.93	71.4%	33.93	71.4%	0.2pt	2.0pt	33.93	-
○	73.8%	-3.96	33.8%	70.7%	75.7%	75.0%	80.5%	18.88	79.5%	18.53	79.5%	18.53	79.5%	-6.7pt	-5.7pt	18.53	-
○	73.4%	-15.62	22.8%	73.2%	67.6%	78.3%	85.4%	13.94	82.1%	19.64	82.1%	19.64	82.1%	-8.8pt	-8.8pt	19.64	-
○	76.6%	-6.90	35.1%	68.3%	86.5%	76.1%	82.9%	15.07	82.1%	13.39	82.1%	13.39	82.1%	-6.3pt	-5.9pt	13.39	-
○	75.8%	1.08	36.8%	70.7%	73.0%	82.6%	87.8%	27.09	85.7%	23.21	85.7%	23.21	85.7%	-12.0pt	-9.9pt	23.21	-
○	69.4%	5.62	40.4%	70.7%	75.7%	63.0%	65.9%	19.43	67.9%	17.86	67.9%	17.86	67.9%	3.5pt	1.5pt	17.86	-



生徒と大人の認識の差 (A-B)	生徒と大人の認識 (A)		生徒と大人の認識 (B)		生徒と大人の認識の差 (A-B)		大人問題項目
	割合(%)	差(p)	割合(%)	差(p)	割合(%)	差(p)	
5 失敗を恐らずに挑戦することができる	74.5%	-2.43	78.5%	20.87	73.2%	14.46	5 失敗を恐らずに挑戦することができる
20 失敗してもよい安全・安心な雰囲気がある	71.8%	1.44	73.2%	26.74	67.9%	24.11	13 挑戦する人に対して、応援することができる
21 挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある	83.1%	-5.95	80.5%	5.49	75.0%	0.00	6 目標や当事者意識を持つ挑戦する人に対して、応援することができる
33 目標や当事者意識を持つ挑戦している人がある	78.2%	-5.29	85.4%	35.37	82.1%	32.14	7 自身の挑戦に、周囲を巻き込むしている
34 地域に、尊敬している・憧れている大人がいる	57.3%	-0.98	-	-	-	-	14 誰かが何かに挑戦しようと決まるとき、手を差し伸べている
30 人の挑戦に関わらせてもらえる機会がある	63.7%	3.27	63.4%	24.13	53.6%	9.82	22 子どもの自己決定を尊重できる
26 自分がかたに挑戦しようと思つとき、周りは手を差し伸べてくれる	83.1%	-7.05	80.5%	12.63	75.0%	6.25	-
35 周りの大人は、自分に関わることで自分自身で決めることを尊重してくれる	83.9%	-	87.8%	-	-	-	-
36 生徒の意見が学校での意思決定に反映される雰囲気がある	75.0%	0.80	-	-	-	-	-
協働性に関わる学習環境	74.2%	0.29	78.0%	16.44	73.2%	16.96	8 人と関わり、互いに意見を尊重している
22 人と関わりが尊重される雰囲気がある	71.0%	-0.46	75.6%	22.04	67.9%	17.86	9 あらゆる個人の個人を尊重している
23 あらゆる自分の尊重される雰囲気がある	73.4%	-1.34	80.5%	9.06	78.6%	16.07	15 自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある
27 自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある	79.0%	-0.09	80.5%	12.63	78.6%	16.07	16 立場や役割を超えて協働する機会がある
28 立場や役割を超えて協働する機会がある	73.4%	3.06	75.6%	22.04	67.9%	17.86	-
探究性に関わる学習環境	75.8%	-1.67	69.5%	25.76	63.4%	19.64	10 本質を気兼ねなく発言できる
17 本質を気兼ねなく発言できる雰囲気がある	75.0%	2.47	58.5%	29.97	42.9%	30.36	11 地域に、将来のことや実現したいことを話し合える大人がいる
24 将来のことや実現したいことを話し合える大人がいる	75.0%	-7.42	61.0%	21.69	50.0%	6.25	18 お互いに思いかけあふ機会がある
31 お互いに思いかけあふ機会がある	73.4%	-0.24	85.4%	13.94	89.3%	8.04	21 地域で生徒を育てるという意識を持っている
社会性に関わる学習環境	73.8%	-3.96	80.5%	18.88	79.5%	18.53	19 地域の人や専門家などに関わる機会を持っている
19 地域から大切にされている雰囲気を感じる	73.4%	-15.62	85.4%	13.94	82.1%	19.64	20 地域の人や専門家などに関わる機会を持っている
25 興味を持ったことに対してすぐに挑戦、承けてくれる大人がいる	76.6%	-6.90	82.9%	15.07	82.1%	13.39	12 自分の暮らしや地域を外の視点で考える機会を持っている
29 地域の人や専門家などに関わる機会がある	75.8%	1.08	87.8%	27.09	85.7%	23.21	-
32 自分の暮らしや地域を外の視点で考える機会がある	69.4%	5.62	65.9%	19.43	67.9%	17.86	-

③ 生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）

全体	全校			1年生（2022入学生）			2年生（2021入学生）			3年生（2020入学生）			4年生（2019入学生）		
	割合(%)	変化(p)	地域差(p)	割合(%)	変化(p)	地域差(p)	割合(%)	変化(p)	地域差(p)	割合(%)	変化(p)	地域差(p)	割合(%)	変化(p)	地域差(p)
60.5%	4.75	-8.13	3.34	61.3%	-1.66	3.34	56.4%	-6.62	19.0%	63.0%	13.62	5.06	-	-	-
56.0%	6.05	-9.22	8.03	61.0%	15.52	8.03	45.9%	0.49	21.4%	59.8%	9.78	6.84	-	-	-
65.3%	-1.71	-10.42	3.08	70.7%	11.64	3.08	54.1%	-5.04	28.5%	69.6%	2.00	1.92	-	-	-
46.8%	13.81	-8.03	12.98	51.2%	19.40	12.98	37.8%	6.02	14.3%	50.0%	17.57	11.76	-	-	-
66.9%	1.00	-6.94	-11.42	65.9%	-11.42	-4.73	67.4%	-9.71	23.8%	67.4%	10.63	-3.20	-	-	-
66.9%	1.00	-6.94	-11.42	65.9%	-11.42	-4.73	67.4%	-9.71	23.8%	67.4%	10.63	-3.20	-	-	-
54.8%	8.68	-7.53	-1.00	54.9%	-8.76	-1.00	47.3%	-16.34	14.3%	60.9%	25.73	4.99	-	-	-
54.0%	12.27	-7.60	-7.54	56.1%	-7.54	0.22	45.9%	-17.69	19.0%	58.7%	34.37	2.81	-	-	-
55.6%	5.10	-7.46	-9.98	53.7%	-9.98	-2.22	48.6%	-14.99	9.5%	63.0%	17.10	7.16	-	-	-
67.3%	-1.78	-9.86	-6.87	68.3%	-4.43	3.59	67.6%	-5.16	23.8%	69.6%	2.00	4.86	-	-	-
68.5%	4.59	-6.60	-9.31	63.4%	-9.31	10.47	73.0%	0.25	14.3%	63.0%	11.69	10.10	-	-	-
66.1%	5.27	-5.97	71.2%	71.2%	2.13	8.28	66.5%	-2.60	21.0%	72.6%	14.23	9.67	-	-	-
70.3%	-3.53	-7.42	87.8%	87.8%	-3.10	8.39	81.1%	-9.83	9.5%	87.0%	3.17	7.54	-	-	-
85.5%	1.75	-6.92	-12.53	82.9%	6.46	6.46	81.1%	-14.37	28.6%	84.8%	9.11	8.31	-	-	-
83.1%	1.75	-6.92	-12.53	82.9%	6.46	6.46	81.1%	-14.37	28.6%	84.8%	9.11	8.31	-	-	-
60.9%	12.54	-3.05	10.98	61.0%	9.51	5.41	54.4%	2.21	23.8%	65.2%	21.97	13.75	-	-	-
63.7%	8.76	-5.79	6.43	61.0%	6.43	8.03	56.8%	8.60	23.8%	71.7%	20.39	18.80	-	-	-
58.1%	16.31	-0.31	15.52	61.0%	4.32	7.53	59.5%	0.37	19.0%	60.9%	14.92	8.70	-	-	-
61.3%	3.05	-9.40	4.32	63.4%	4.32	7.53	59.5%	0.37	19.0%	60.9%	14.92	8.70	-	-	-
61.3%	3.05	-9.40	4.32	63.4%	4.32	7.53	59.5%	0.37	19.0%	60.9%	14.92	8.70	-	-	-
62.9%	4.25	-7.57	3.07	65.5%	3.07	1.09	60.5%	-1.58	31.3%	62.5%	8.13	-1.22	-	-	-
61.8%	5.78	-6.34	5.14	64.2%	5.14	1.48	59.5%	0.37	36.5%	61.6%	10.24	-1.15	-	-	-
59.7%	10.23	-11.65	11.31	65.9%	18.79	18.79	62.2%	7.62	52.4%	52.2%	8.93	5.12	-	-	-
54.0%	12.27	-1.99	10.31	51.2%	-10.55	13.14	42.9%	15.98	15.9%	56.5%	15.98	-5.24	-	-	-
71.8%	-5.15	-8.77	-6.21	75.6%	-6.21	-3.80	64.3%	-19.66	14.3%	76.1%	5.82	-3.32	-	-	-
69.4%	1.77	-6.14	-1.11	67.1%	-1.11	-6.46	71.6%	3.44	31.0%	69.6%	4.70	-3.96	-	-	-
74.2%	2.76	-8.11	0.44	73.2%	0.44	2.95	73.9%	3.33	33.3%	73.9%	6.35	-5.50	-	-	-
64.5%	0.78	-4.16	-2.66	61.0%	-2.66	-6.67	67.6%	3.93	28.6%	65.2%	3.06	-2.43	-	-	-
56.9%	7.28	-9.28	-3.66	61.0%	-3.66	13.99	52.7%	-12.16	23.8%	56.5%	15.92	13.30	-	-	-
43.5%	7.28	-8.65	-3.66	46.3%	-3.66	13.99	37.8%	-12.16	23.8%	45.7%	15.92	13.30	-	-	-
70.2%	-	-9.90	-	75.6%	-	-	67.6%	-	-	67.4%	-	-	-	-	-
65.3%	1.59	-10.70	11.97	75.6%	2.08	2.08	56.8%	-6.88	23.8%	63.0%	0.88	-10.49	-	-	-
65.3%	1.59	-10.70	11.97	75.6%	2.08	2.08	56.8%	-6.88	23.8%	63.0%	0.88	-10.49	-	-	-
62.0%	-1.99	-2.98	4.26	62.5%	-1.38	-1.38	50.4%	-7.90	19.9%	70.8%	13.99	6.85	-	-	-
57.0%	-3.45	-3.19	-0.67	56.9%	0.05	0.05	43.2%	-14.33	20.6%	68.1%	23.07	11.25	-	-	-
47.6%	8.02	-2.12	7.21	39.0%	7.21	-5.09	37.8%	6.02	23.8%	63.0%	44.12	18.93	-	-	-
60.5%	-8.75	-3.23	-2.66	61.0%	-2.66	5.09	45.9%	5.09	23.8%	71.7%	17.69	15.86	-	-	-
62.9%	-9.62	-4.21	-6.54	70.7%	-6.54	0.14	74.7%	-31.33	14.3%	69.6%	7.40	-1.02	-	-	-
68.8%	3.98	-1.38	16.19	70.7%	3.08	3.08	55.9%	1.31	25.4%	77.5%	18.08	9.89	-	-	-
51.6%	6.56	-3.13	14.86	51.2%	1.22	2.08	37.8%	-9.58	28.6%	63.0%	19.80	13.04	-	-	-
71.0%	0.64	-0.90	11.97	75.6%	2.08	2.08	56.8%	-6.88	23.8%	63.0%	0.88	-10.49	-	-	-
83.9%	4.75	-0.11	21.73	85.4%	5.95	5.95	75.7%	12.04	19.0%	89.1%	16.16	9.72	-	-	-
62.4%	-2.84	-1.59	1.18	61.8%	-5.86	-5.86	55.0%	-5.65	17.5%	68.8%	7.58	1.19	-	-	-
70.2%	-3.47	-1.33	7.43	75.6%	7.43	2.08	51.4%	-16.83	19.0%	80.4%	10.16	6.91	-	-	-
70.2%	-5.66	-2.65	-2.33	65.9%	-2.33	-16.50	73.0%	4.79	23.8%	71.7%	1.47	-10.61	-	-	-
46.8%	0.62	-0.79	-1.55	43.9%	-3.16	-3.48	45.9%	-4.91	9.5%	54.3%	11.10	7.29	-	-	-
58.5%	-7.47	-7.16	-1.61	59.8%	-1.61	-3.48	45.9%	-15.42	14.3%	67.4%	3.88	4.16	-	-	-
51.6%	-7.73	-6.72	-0.89	53.7%	-0.89	0.72	35.1%	-19.41	14.3%	63.0%	11.69	10.10	-	-	-
65.3%	-7.20	-7.60	-2.33	65.9%	-2.33	-7.68	56.8%	-11.43	14.3%	71.7%	-3.94	-1.79	-	-	-

④ 生徒の行動実績（資質・能力の発揮）

10pt以上の増加 ● 0～10ptの増加 ○ 減少	全校		1年生（2022入学生）		2年生（2021入学生）		3年生（2020入学生）		4年生（2019入学生）	
	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)
主体性に関わる行動	65.9%	0.45	65.9%	2.22	63.5%	-0.12	70.7%	7.14	70.7%	4.48
74 授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた	70.2%	-4.56	63.4%	-18.40	75.7%	-6.14	71.7%	4.17	71.7%	1.15
74 授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	63.7%	5.47	68.3%	22.84	51.4%	5.90	69.6%	10.11	78.0	7.80
協働性に関わる行動	68.5%	2.06	67.1%	-5.65	67.6%	-5.16	70.7%	5.79	70.7%	1.53
72 自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた	68.5%	0.42	68.3%	0.11	67.6%	-0.61	69.6%	2.00	69.6%	1.92
73 友人などから、意見やアドバイスを求めた	68.5%	3.71	65.9%	-1.42	67.6%	-9.71	71.7%	9.58	71.7%	1.15
探究性に関わる行動	65.3%	13.12	67.1%	7.98	62.2%	3.07	66.3%	21.71	66.3%	6.01
75 授業でなぜか分からない問題を持って、考えたり調べたりした	66.9%	13.09	65.9%	6.76	64.9%	5.77	69.6%	23.62	69.6%	13.68
75 公式やまじまりを習得し、その根拠を自分で考えたり調べたりした	63.7%	13.16	68.3%	9.20	59.5%	0.37	63.0%	19.80	63.0%	-1.66
社会性に関わる行動	57.8%	7.25	53.7%	3.66	55.0%	4.95	63.8%	13.32	63.8%	2.98
69 いま住んでいる地域の行事に参加した	54.0%	10.08	53.7%	12.75	51.4%	10.44	56.5%	5.17	56.5%	9.46
70 地域社会などでボランティア活動に参加した	49.2%	18.42	41.5%	5.10	54.1%	17.69	52.2%	25.15	52.2%	-6.65
77 先生、保護者以外の地域の大人と、おこなう会話や交流をした	70.2%	-6.76	65.9%	-6.87	59.5%	-13.27	82.6%	9.64	82.6%	6.14

⑤ 学習・その他

全校	1年生（2022入学生）		2年生（2021入学生）		3年生（2020入学生）		4年生（2019入学生）	
	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)
91 平均的な学習時間【平日】	54.92	-	55.61	-	45.95	-	61.52	-
92 平均的な学習時間【休日】	94.92	-	92.68	-	73.24	-	114.35	-

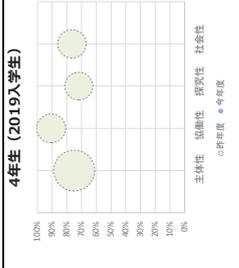
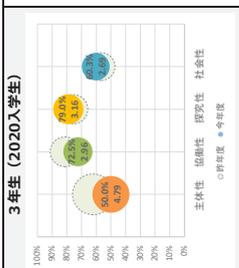
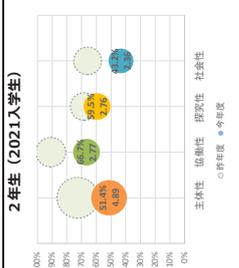
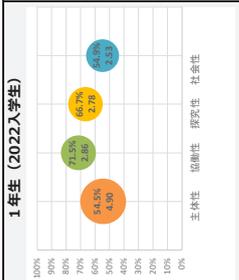
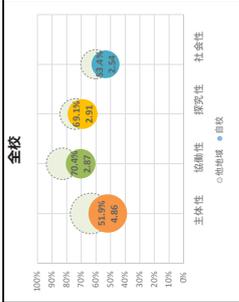
⑥ 大人向け調査（全回答平均）

大人向け調査（全回答平均）	1年生（2022入学生）		2年生（2021入学生）		3年生（2020入学生）		4年生（2019入学生）	
	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)
90 この学校を中学生におすすめできる	59.9%	-	61.0%	-	51.4%	-	63.0%	-
78 国際社会の課題解決に貢献したい	57.3%	3.41	61.0%	10.98	48.6%	-1.35	60.9%	17.63
79 まだ世の中にある新しい技術やサービスを生み出してみたい	55.5%	5.90	53.7%	8.20	48.6%	3.19	65.2%	8.46
80 客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたるのができる	53.2%	19.16	46.3%	5.43	54.1%	13.14	58.7%	31.67

大人向け調査（教職員のみ）	1年生（2022入学生）		2年生（2021入学生）		3年生（2020入学生）		4年生（2019入学生）	
	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)	割合(%)	差(pt)
25 この学校を中学生におすすめできる	70.7%	-	57.1%	-	63.0%	-	60.9%	-
26 この学校に関わってよかったと思う	75.6%	-	64.3%	-	64.3%	-	60.9%	-
27 この地域を、将来暮らしやすい場所としておすすめできる	50.0%	-	50.0%	-	50.0%	-	50.0%	-
28 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、授業の質の向上につながっている	67.9%	-	67.9%	-	67.9%	-	67.9%	-
29 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、自身の資質・能力の向上につながっている	60.7%	-	60.7%	-	60.7%	-	60.7%	-
30 【教職員のみ】地域・社会との協働を通して、学習意欲が高まった生徒がいる	10.7%	-	10.7%	-	10.7%	-	10.7%	-

⑦ 生徒のウェルビーイング

	全校		1年生 (2022入学生)		2年生 (2021入学生)		3年生 (2020入学生)		4年生 (2019入学生)	
	割合 (%)	変化 (pt)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	学年割合 (%)	
● 10pt以上の増加 ● 0~10ptの増加 ● 減少										
<b>主体性</b> に関するウェルビーイング	51.9%	4.88pt	54.5%	-21.51pt	51.4%	-18.67pt	50.0%	-9.99pt	-	
81 今の生活全般に対する満足度 (0~10で評価: 6以上の割合)	52.4%	-16.81pt	51.2%	-21.51pt	54.1%	-18.67pt	52.2%	-9.99pt	-12.53pt	
82 親の生活全般に対する満足度 (0~10で評価: 6以上の割合)	56.5%	-	63.4%	-	54.1%	-	52.2%	-	-	
83 現在の日常生活に不安や心配事がない	46.8%	-	48.8%	-	45.9%	-	45.7%	-	-	
<b>協働性</b> に関するウェルビーイング	70.4%	-11.81pt	73.2%	-17.74pt	66.7%	-26.04pt	72.5%	3.70pt	-9.34pt	
66 この学校に入ってよかったと思う	75.0%	-11.81pt	73.2%	-17.74pt	64.9%	-26.04pt	84.8%	3.70pt	-9.34pt	
84 学校の一日は忙しすぎる	71.0%	-	73.2%	-	73.0%	-	67.4%	-	-	
85 大切な人を幸せにしたり、楽しませたりしていると思う	65.3%	-13.22pt	68.3%	-	62.2%	-	65.2%	-	-	
<b>探究性</b> に関するウェルビーイング	69.1%	-7.20pt	66.7%	-2.33pt	59.5%	-11.43pt	70.0%	-3.94pt	-1.79pt	
68 【再掲】自分の将来について明確な希望を持っている	65.3%	-7.20pt	65.9%	-2.33pt	56.8%	-11.43pt	71.7%	-3.94pt	-1.79pt	
86 自分の将来についての見通し(将来についてやりたい)を持っている	73.4%	-	68.3%	-	64.9%	-	84.8%	-	-	
87 自分の将来に向けて大切なことを実行している	68.5%	-	65.9%	-	56.8%	-	80.4%	-	-	
<b>社会性</b> に関するウェルビーイング	53.4%	-8.68pt	54.9%	-3.71pt	43.2%	-25.37pt	60.3%	9.55pt	4.54pt	
58 【再掲】将来、自分の住んでいる地域で役に立ちたい	62.9%	-9.62pt	70.7%	-6.54pt	45.9%	-31.33pt	69.6%	7.40pt	-1.02pt	
60 【再掲】地域文化や暮らしを、自分の手で未来に伝えたい	51.6%	-7.73pt	53.7%	-0.89pt	35.1%	-19.41pt	63.0%	11.69pt	10.10pt	
88 この地域を、将来暮らし場所としておすすめできる	62.1%	-	61.0%	-	54.1%	-	69.6%	-	-	
89 日本の将来は明るいと思う	37.1%	-	34.1%	-	37.8%	-	39.1%	-	-	



## 6. 研究開発完了報告書

### (1) 事業の実施期間

令和4年 4月 1日（契約締結日）～ 令和5年 3月31日

### 2 指定校名・類型

学校名 東京都立八丈高等学校  
学校長名 佐藤 俊一  
類型 地域魅力化型

### 3 研究開発名

八丈やろごんプロジェクト

### 4 研究開発概要

#### 【研究開発目標】

「八丈島を支える人材を地域とともに育てる」

#### 【ランドデザインに基づいた育成すべき生徒の将来像】

- 目標の実現のために、自主的・主体的に学び続け、自分で道を切り拓ける人物
- 社会の変化に対応できる広い視野をもち、率先して動く自立した人物
- 地域、歴史、自然、産業、伝統文化に対する深い理解をもち、誇りに思える人物

#### 【八文学Ⅰ（1年次）】

1学期に八丈島の自然、歴史、文化、産業に関するレクチャー・フィールドワークを通して、八丈島に関する理解を深めるとともに、島の価値や課題を見出させるために、探究のサイクルを用いて探究の基礎学習を行う。また2学期にフェノロジーカレンダーの作成を通して、八丈島の地域課題に気づかせる取組を実施する。

3学期には、作成したフェノロジーカレンダーを活用して、島内小中学校及び八丈島に来島した学校への成果発表、島外への訪問発表、オンラインによる都内小中学校への生徒による発表活動及び都内高等学校との交流を行う。年間を通して地域と向き合い、自己理解や地域の特性・課題に気づく力を育成する。

#### 【八文学Ⅱ（2年次）】

令和3年度に開講する八文学Ⅱでは、地域の実態を踏まえたより現実的な探究学習を行い、解決策の提案を行う島民会議を実施する。1学期には、1年次に行った八丈島に関する基礎的な学びを基に、学びを深めるとともに、生徒の主権者意識を高めさせる工夫を行う。2学期には、他県のまちづくりシンポジウム等を参考に地域と学校が一体となって、八丈島の未来について考え、地域課題の解決策の提案の場として「島民会議」を開催する。2学期後半から3学期にかけて、島民会議で出された課題を基に個別研究の実験やフィールドワークを行い、課題の実証や実現の可能性を検証する。地域課題の解決を図ることを通じて、自己の生き方や島の未来を考えることで、課題発見・解決能力や将来設計能力を育成する。

### 【八文学Ⅲ（3年次）】

令和4年度に開講する八文学Ⅲでは、地域を活性化させ、島内外に八丈島の魅力を発信するための実践的な力を身に付けさせ、持続可能で、実現可能な行動計画を立て実践する。1・2学期を通じて、観光甲子園や田舎力甲子園などのコンテストに応募し、具体的な行動計画を発信する。年間を通して、課題を解決するための実践力を養い、自己実現のための具体的な行動と地域の将来のための具体策を発表することにより、地域探究学習の成果を広く伝える力を育成する。

これら3年間の研究開発の結果、研究開発目標及びグランドデザインに基づいた育成すべき生徒の将来像の素地を確実に身に付けさせることを指定期間終了時のゴールとする。

#### 5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用の有無

- ・学校設定教科・科目 開設している ・ 開設していない
- ・教育課程の特例の活用 活用している ・ 活用していない

#### 6 運営指導委員会の体制

氏名	所属・職	備考
茂手木 清	八丈町教育委員会・教育長職務代理者	学校教育に専門的知識を有する者
林 薫	八丈町教育委員会・臨時職員	学校教育に専門的知識を有する者
大沢 力	製菓やたけ・社長	地域産業界関係者
長田 隆弘	長田商店・社長	地域産業界関係者

#### 7 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

機関名	機関の代表者
東京都教育委員会	浜 佳葉子（教育長）
八丈支庁	池野 大介（支庁長）
教育庁八丈出張所	永田 史子（副所長）
東京都立八丈高等学校	佐藤 俊一（校長）
八丈町役場	山下 奉也（町長）
八丈町教育委員会	佐藤 誠（教育長）
八丈島観光協会	田村 真吾（事務局長）
八丈町商工会	間仁田 聡（会長）
八丈島空港ターミナルビル株式会社	吉田 倫久（代表取締役専務）
東海汽船株式会社	山崎 潤一（社長）
東京都立大学総合研究推進機構	柴田 徹（URA・産学連携専門部長）
文教大学地域連携センター	野島 正也（学長）
八丈ビジターセンター	高須 英之（センター長）
フェノロジーカレンダー研究会事務局	田島 幸郎
八丈太鼓よされ会	奥山 善男
八丈島エコツアーガイド協会	大類 由里子
八丈島移住定住促進協議会	内山 江差夫

8 カリキュラム開発専門家，海外交流アドバイザー，地域協働学習支援員

分類	氏名	所属・職	雇用形態
カリキュラム開発等専門家	増渕 達夫	帝京大学教育学部教育文化学科教授	委嘱
地域協働学習支援員	佐治 渉	八丈町役場企画財政課	委嘱
地域協働学習支援員	大類 由里子	八丈島エコツアーガイド協会・副代表	委嘱
地域協働学習支援員	大澤 萌	あいがえ企画・代表	委嘱

9 管理機関の取組・支援実績

(1) 実施日程

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①学校視察 学校訪問								5日 ★	21日 ★			
②運営指導 委員会出席 (オンライン)	15日 ★			25日 ★		26日 ★	7日 ★	10日 ★		20日 ★		2日 ★
③定例会 (オンライン)	20日 ★					29日 ★		16日 ★	13日 ★	24日 ★		
③コンソーシ アム協議会 出席 (オンライン)	27日 ★							25日 ★			3日 ★	

(2) 実績の説明

① 学校視察・学校訪問

[内容]

校内体制の構築、島民会議検証、PTA への地域協働への地域協働事業への協力についてについて指導・助言を行った。

[成果]

担当教員から直接、学校や研究の状況を把握し、適切に指導・助言を行った。PTA から地域協働事業への理解が得られた。

② 運営指導委員会（オンライン参加 7回）

[内容]

運営指導委員とともに、校内体制の構築、発表資料作成、島民会議実施方法、島外学校との連携について指導・助言を行った。

[成果]

担当教員・運営指導委員から直接学校や研究の状況を把握し、適切に指導・助言を行った。

③ 定例会出席(オンライン参加5回)

[内容]

校内体制の構築、発表資料作成、島民会議実施方法、島外学校との連携について指導・助言を行った。

〔成果〕

佐藤俊一校長から直接学校や研究の状況を把握し、適切に指導・助言を行った。

④ コンソーシアム協議会(オンライン参加3回)

〔内容〕

島民会議実施方法、振り返り、次年度へ向けて指導・助言を行った。

〔成果〕

担当教員、地域協働学習実施支援員、コンソーシアムから研究の状況を把握し、適切に指導・助言を行った。

10 研究開発の実績

(1) 実施日程

業務項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【八丈学Ⅰ】 八丈島の自然、歴史、文化、 産業等地域課題学習	→											
【八丈学Ⅰ】 フェノロジーカレンダーの制作を 通じた探究学習				→								
【八丈学Ⅰ】 企業調査を通じた探究学習								→				
【八丈学Ⅰ】 探究学習を基にした 発表活動										→		
【八丈学Ⅱ】 島民会議での八丈島の社会課 題に対する、政策提言に向け ての探究学習	→											
【八丈学Ⅱ】 島民会議での意見交換に向け ての事前準備、事後整理			→									
【八丈学Ⅱ】 八丈島を発信するための実践活 動の事前準備										→		
【八丈学Ⅲ】 八丈島を発信するための実践活 動を通じた探究学習	→											
【八丈学Ⅲ】 3年間の探究学習n経験を基に した、後輩への指導、助言									→			

## (2) 実績の説明

### ① 八丈島の自然、歴史、文化、産業等の地域課題学習

#### 〔内容〕

地域人材の活用により、八丈島の自然、歴史、文化、伝統、産業等を学び、島の価値や魅力について知る学習を実施した。

- ・八丈町教育委員会 茂手木 清氏 林 薫 氏（7月12日 八丈方言について）

#### 〔成果〕

八丈島の自然、歴史、文化、伝統、産業について学び、価値について再確認した。

### ② フェノロジーカレンダーの制作を通じた探究学習

#### 〔内容〕

島の価値や魅力についての学習を基に、八丈島のイベント、動植物、草花、野菜、海産物等の項目ごとに実施月や収穫の時期など季節ごとに分類・整理し、季節の暦カレンダーであるフェノロジーカレンダーを制作した。

- ・文教大学 海津ゆりえ 教授（6月16日、11月18日）
- ・株式会社 アートポスト 滝口貴美子 氏（6月16日、11月18日、11月29日、12月19日、2月10日、3月16日）

#### 〔成果〕

調査した内容を整理、まとめることにより、島の価値について気づき、深めることができた。

### ③ 企業調査を通じた探究学習

#### 〔内容〕

島の各職業の1年間の流れをフェノロジーカレンダーと比較することにより、自然と人の関係性について理解する。

- ・12月19日 地域企業（めゆ工房、八丈ビジターセンター、長田商店、八丈町給食センター）

#### 〔成果〕

八丈島のさまざまな職業と八丈島の自然との関わりについて気づき、フェノロジーカレンダー制作に生かすことができた。

### ④ 探究活動を基にした発表活動

#### 〔内容〕

フェノロジーカレンダーについて発表活動を実施した。

- ・1月27日 1年生の発表に対する、2年生からの指導・助言
- ・3月17日 都立立川高等学校とのオンライン成果発表交流会
- ・3月18日 多摩・島しょサミットにおいて成果発表会

#### 〔成果〕

成果を伝えることができ、探究活動の課題等をさらに気づくことができた。

### ⑤ 島民会議での八丈島の社会課題等に対する、政策提言に向けての探究学習

#### 〔内容〕

島民会議に向けて、八丈島の地域課題及びその解決策について、探究活動を実施した。

- ・コンソーシアムによる生徒への指導・助言（随時）

- ・地域へのフィールドワーク（随時）

〔成果〕

八丈島の社会課題等に気づき、解決策を深めることができた。また、主権者意識を育むことができた。

⑥ 島民会議での意見交換に向けての事前準備、事後整理

〔内容〕

島民会議に向けての事前・事後指導を行った。

- ・10月7日 プレ島民会議（島内コンソーシアムによる指導・助言）
- ・11月25日 第8回コンソーシアム協議会（島内コンソーシアムによる指導・助言）
- ・12月21日 午前：島民会議、  
午後：島民会議振り返り（生徒による振り返り、及び文部科学省、東京都教育庁、カリキュラム開発等専門家による指導助言）

〔成果〕

成果を伝えることができ、探究活動の課題等をさらに気づくことができた。

⑦ 八丈島を発信するための実践活動の事前準備（プレ個人探求）

〔内容〕

八文学Ⅲに向けて、八丈島を発信するための実践活動の探究課題を設定した。

〔成果〕

多くの分野に視野が広がり、探究活動だけではなく、進路活動にも関連付け、将来設計能力を育むことができた。

⑧ 八丈島を発信するための実践活動を通じた探究学習（個人探求）

〔内容〕

自らの将来や進路に関連した、八丈島に関する個人課題探究を設定し探究活動を実施した。

〔成果〕

- ・7月19日 普通科・併合科合同中間発表会
- ・11月25日 八文学Ⅲ成果発表会（島内コンソーシアムによる指導・助言）

⑨ 3年間の探究学習の経験を基にした後輩への指導・助言

〔内容〕

探究活動の経験をもとに、1学年・2学年の生徒に対して、指導・助言を行った。

〔成果〕

- ・7月14日 八文学Ⅱ（島民会議）中間発表指導・助言
- ・12月20日 八文学Ⅱ（島民会議）事前発表練習
- ・12月21日 島民会議補助（記録、設営等）
- ・1月20日、27日 八文学Ⅱプレ個人探究指導

## 1 1 目標の進捗状況, 成果, 評価

管理機関、カリキュラム開発等専門家及び島内コンソーシアムと連携を図りながら、教務部及び授業担当者のメンバーが検証を行い、PDCAサイクルに基づいて改善を進めた。

### (1) 本構想において実現する成果目標の設定 (アウトカム)

#### ① 卒業時に生徒が修得すべき具体的能力の定着状況

a 全校アンケートの「島に戻って仕事をしたい」と考える生徒を増やす。

3年次目標 80%、3年次実績 47% (高校魅力化評価システムアンケートより)

#### ② 高校卒業後の地元への定着状況

b 卒業生に対する卒業後2年目のアンケートにおいて、島への就職を視野に入れている者を増やす。

3年次目標 80%、3年次実績 調査未実施

#### ③ その他本構想における取組の達成目標

c 八丈町立中学校からの都立八丈高等学校への進学率を上げる。

3年次目標 95%、3年次実績 75% (2月末日時点)

### (2) 地域人材を育成する高校としての活動指標 (アウトプット)

#### ① 地域課題研究又は発展的な実践の実施状況

a 地域開発に関するコンテスト受賞数

3年次目標 2、3年次実績 0

#### ② 普及・促進に向けた取組の実施状況

管理機関での発表 2回、地域での広報誌掲載 14回、HP更新回数 9回

Twitter更新回数 84回

#### ③ 島外学習での学校訪問数・テレビ会議を利用した交流の回数

3年次目標 16回、3年次実績 5回 (1回の交流規模を大きくしたため)

#### ④ その他本構想における取組の達成目標

b フェノロジーカレンダー設置場所

3年次目標 30か所、3年次は20か所設置予定

### (3) 地域人材を育成する地域としての活動指標 (アウトプット)

#### ① 地域人材を育成する地域としての活動の推進状況

a 全校アンケート調査にある「島を盛り上げていきたい」と答える生徒を増やす。

初年度実績 45%、2年次実績 64%、3年次実績 62%

(高校魅力化評価システムアンケート結果より)

#### ② その他本構想における取組の達成目標

b 全島民会議の参加者数の増加

3年次目標 350、3年次実績 200 (新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止による人数制限をしたため)

<添付資料> 目標設定シート

## 1 2 次年度以降の課題及び改善点

### [課題]

- ① 教職員全体の地域協働に対する理解は深まってきたが、未だ共通理解・共通認識が不足している。
- ② コンソーシアムについて、本事業への関わりに温度差があった。
- ③ 探究活動について、フィールドワークの実施回数が少なかった。
- ④ 令和5年度以降の地域協働事業の持続可能な財源の確保ができなかった。
- ⑤ 地域と協働した探究学習の継続性のある組織体制を確立できなかった。

### [改善点]

- ① 教職員への研究を学期に1回実施する。
- ② コンソーシアムの精査と、PTA等保護者の参加を促す。
- ③ フィールドワークの回数の増加や、課外活動等を利用する。
- ④ 地域との円滑な関係を築く。また、地域協働学習実施支援員を中心とした、地域団体を設立する。
- ⑤ 校内の組織に地域を協働した探究学習の担当者を増加する。また、校務内容を精査する。

### III. 八丈学 I

1. 令和4年度『八文学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』年間予定

月日		予定	八文学Ⅲ	八文学Ⅱ	八文学Ⅰ
4月	15日	第1回運営指導委員会	合同授業	合同授業	合同授業
	22日		個人探究（調査）	オリエンテーション	「小・中の振り返り」
5月	6日		個人探究（調査）	間を見つける①	自然①
	13日		個人探究（調査）	間を見つける②	文化・歴史①
	27日		個人探究（グループ発表）	グループ探究（テーマ設定①）	文化・歴史②
6月	10日	3年修学旅行		グループ探究（テーマ設定②）	自然② フィールドワーク
	17日		個人探究（グループ発表）	グループ探究（調査、資料作成①）	フェノロジーカレンダーとは
	18日	40分短縮（授業公開）	個人探究（グループ発表）	グループ探究（調査、資料作成②）	企業インターン準備
7月	未定（12～14日）	2時間（40分短縮、特別時程）	個人探究（追加調査）	グループ探究（調査、資料作成③）	企業インターン①
	未定（19日）	4時間（40分短縮、特別時程）	個人探究発表会（学年全体→学校全体？）	中間発表	宝探し①
	25日	第2回運営指導委員会			
8月	課題		個人探究（レポート作成）	グループ探究（調査）	調査・フィールドワーク
9月	2日	1, 2年模試	個人探究（レポート作成）		
	9日		個人探究（レポート作成）	グループ探究（調査、資料作成④）	宝探し②
	14日	木曜日→金曜授業	八高祭準備	グループ探究（調査、資料作成⑤）	宝探し③
	18日 19日	八高祭	八高祭（個人探究発表会の様子を動画で発表）	八高祭（調査の中間発表PTを掲示）	八高祭
	30日		個人探究（レポート完成）	グループ探究（調査、資料作成⑥）	企業インターン②
10月	7日	プレ島民会議	プレ島民会議参加	プレ島民会議	プレ島民会議見学
	21日	学校運営協議連絡会			
	28日	1年生移動教室	島民会議補助／レポート完成	プレ島民会議振り返り	
11月	4日		島民会議補助／レポート完成	グループ探究（調査、資料作成⑦）	企業インターン③
	10日	第4回運営指導委員会			
	11日		島民会議補助／レポート完成	グループ探究（調査、資料作成⑧）	中間報告
	18日		島民会議補助／レポート完成	グループ探究（調査、資料作成⑨）	宝探し④
	25日	第8回コンソーシアム協議会	島民会議補助／レポート完成	中間発表（2年、3年）	宝探し⑤
12月	9日		島民会議補助	グループ探究（調査、資料作成⑩）	フェノロジーカレンダー
	未定（16日）	2時間（40分短縮、特別時程）	島民会議補助	グループ探究（調査、資料作成⑪）、	フェノロジーカレンダー
	未定（20日）	2時間（40分短縮、特別時程）		島民会議打ち合わせ	フェノロジーカレンダー
	21日	島民会議	『島民会議』	『島民会議』	『島民会議』
1月	13日			プレ個人探究オリエンテーション	フェノロジーカレンダー
	20日	第6回運営指導委員会	八文学のまとめ	プレ個人探究オリエンテーション	中間報告・企業インターン④
2月	3日	2年生修学旅行 第9回コンソーシアム協議会		プレ個人探究テーマ設定①	
	10日			プレ個人探究テーマ設定③	フェノロジーカレンダー
	17日			多摩・島嶼サミット準備	フェノロジーカレンダー
3月	未定（16日）			多摩・島嶼サミット準備	多摩・島嶼サミット準備
	17日	多摩・島嶼サミット		多摩・島嶼サミット（オンライン交流会）	多摩・島嶼サミット（オンライン交流会）

2. 令和4年度『八文学Ⅰ』（年間授業計画）

				概要	詳細
4月	15日	第1回運営指導委員会	八丈を知る	合同授業	2, 3年生から八文学について説明を受ける
	22日			「小・中の振り返り」	小学校、中学校で行なってきた八丈島の学習について振り返りをする。
5月	6日			自然①	八丈島の自然について
	13日			文化・歴史①	八丈島の文化について
	27日			文化・歴史②	八丈島の歴史について
6月	10日			自然② フィールドワーク	ビジターセンターへフィールドワーク
	17日			フェノロジーカレンダーとは	フェノロジーカレンダーについて説明を受ける。
	18日			企業インターン準備	八丈島の職業について知る
7月	未定			企業インターン①	八丈島の職業について知る
	未定			宝探し①	八丈島の価値について理解する。
8月	課題		調査・フィールドワーク	フェノロジーカレンダーの素材を探すために、各所へフィールドワーク	
9月	9日		宝探し②	八高祭のためにデータを整理する。	
	18日 19日	八高祭	八高祭		
	26日	第3回運営指導委員会	企業インターン②	八丈島の職業についてフェノロジーカレンダーとの関わりについて理解する。	
10月	7日	プレ島民会議	プレ島民会議見学	プレ島民会議に見学者として参加する。	
11月	4日		企業インターン③	八丈島の職業についてフェノロジーカレンダーとの関わりについて理解する。	
	11日		中間報告	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる	
	18日		宝探し④	フェノロジーカレンダーの素材を探すために、各所へフィールドワーク	
	25日	第8回コンソーシアム協議会	宝探し⑤	フェノロジーカレンダーの素材を探すために、各所へフィールドワーク	
12月	未定		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	未定		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	21日	島民会議	『島民会議』	2年生の島民会議の補助、議論の参観	
1月	13日		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	20日	第6回運営指導委員会	中間報告	フェノロジーカレンダーの中間報告を行い、先輩からアドバイスを受ける。	
2月	3日		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	9日	第9回コンソーシアム協議会	フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	10日		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダーの情報をまとめる。	
	17日		フェノロジーカレンダー	フェノロジーカレンダー仕上げ	
	未定		オンライン交流会準備	オンライン交流会の準備をする。	
	17日	立川高校交流会	オンライン交流会	オンライン交流会で1年間の探究の成果を発表する。	

### 3. 八丈島の自然

#### 【実施日時】

本年度は実施なし（令和3年度実施）

#### 【目的】

- ◆ ガイドウォークを通して八丈島の生物を知り、独自の固有性を獲得した過程や、固有種の特徴について知ることで、八丈島の価値についての理解を深める。



植物公園内体験学習

#### 【講師】

- ◆ 八丈植物公園ビジターセンター センター長 高須 英之 様

#### 【内容】

- ◆ 体験学習の内容
  - ① 八丈島の成り立ち（地形的な特徴も含めて）を知る。
  - ② 生き物に触れる。島の生き物を知る。
  - ③ どのような生き物が「渡ってきたのか」を知る。



ビジターセンター内での講習会の様子

#### 【生徒の感想】

- ◆ 八丈島の植物がどういうものか、どのようにやってきたかなどの歴史を知ることができてよかった。
- ◆ 八丈島は自分が思っていたよりもすごく大きいということを知って一番驚いた。
- ◆ 八丈島の価値ある自然を知って八丈島がさらに好きになった。
- ◆ 八丈と名の付く動植物の存在を知って驚いた。嬉しかった。新種の生物など見つけてみたいと思った。

#### 【成果と課題】

八丈島に動植物がたどりつくには三つの W (wave, wind, wing) である海流、風、鳥によるものであることを知ることができた。このことにより、生徒が知っている動植物がどのようにたどりついたか考察し、思考を深めることができた。また、八丈島の厳しい自然環境（日差し、潮風、強風、降水量）の中で独特な進化を遂げてきたことを知り、動植物の視点から八丈島と他の地域を比較して、考えを深めることができた。さらに、八丈島の固有種や、特徴のある動植物について知ることができたことで、八丈島に対する興味・関心や郷土愛を深めることができた。

八丈島の自然分野の授業を通して知識を身に付けるだけでなく、考えを深めることができた。また、地域の価値についても気付くだけでなく八丈島の未来を築く、主体的な立場になり、保存継承を行う意識の醸成と、能力を育てていく必要がある。

## 4. 八丈島の伝統・文化

### 【実施日時】

- ◆ 7月12日（金）

### 【目的】

- ◆ ユネスコの世界危機言語の一つとなっている八丈言葉の価値について知る。
- ◆ 八丈言葉の系譜について知ることで、八丈言葉の大切さを知る。
- ◆ 八丈言葉を活用できるようになることで、自身が普及の一端を担う意識を涵養する。

### 【講師】

- ◆ 八丈町教育委員会（運営指導委員） 茂手木 清 講師
- ◆ 八丈町教育委員会（運営指導委員） 林 薫 講師

### 【使用教材】

- ◆ プリント・スライド（別添）

### 【内容】

- ◆ 茂手木清講師、林薫講師をお招きし、八丈言葉の講演を行った。 八丈方言の講演会の様子



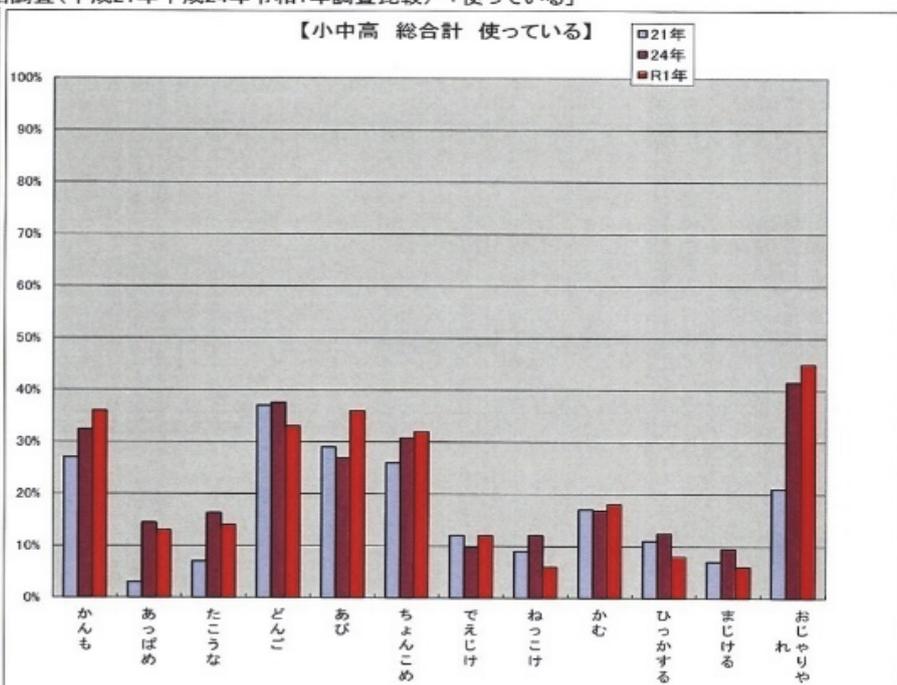
### 【成果と課題】

- ◆ 八丈言葉は耳にしているも、日常で使用しなかったり、中身を深めたり、実践に結びつけたりするような学び方をしていない生徒が多かったと思われる。今回の授業では、八丈言葉の貴重さや存在が危ぶまれていること等への理解を深めたり、日常的に使用できる八丈言葉を再確認したりすることができた。

八丈言葉を実際に活用し、高校生の世代がこれから保存、存続させるということ、多くの場面で伝えていく必要がある。今回の講演では講演を聴講するという形になってしまったが、講演の内容をもとに、現代で八丈言葉を活用するにはどのような策が必要かを考える授業展開とすることが一層求められる。次年度以降も、さらに工夫した展開と発展させていく。

八丈語調査(平成21年平成24年令和1年調査比較)「使っている」

小中高 総合計 比較 「使っている」 21年度758名/24年度748名/1年度552名				
調査八丈語	21年	24年	R1年	増減pt. (24・R1)
かんも	27%	32%	36%	4
あっぱめ	3%	14%	13%	-1
たこうな	7%	16%	14%	-2
どんご	37%	38%	33%	-5
あび	29%	27%	36%	9
ちよんこめ	26%	31%	32%	1
でえじけ	12%	10%	12%	2
ねっこけ	9%	12%	6%	-6
かむ	17%	17%	18%	1
ひっかする	11%	12%	8%	-4
まじける	7%	9%	6%	-3
おじやりやれ	21%	42%	45%	3



出典：八丈町教育委員会

## 5. 八丈島の歴史

### 【実施日時】

◆ 5月13日 3時間目

### 【内 容】

八丈島についての歴史の大きな流れをつかませることを目的に授業を行った。生徒には穴埋め式のプリントを配布し、パワーポイントで要点を説明しながら穴埋め作業を行わせて後最後に確認のミニテストを行った。

#### ◆コラム 八丈島の伝説◆

##### ①秦の[1. 徐福]伝説

⇒八丈島が女護島(女だけの島)と考えられるルーツに。

女のみが住むという伝統を打ち破ったとされるのが、伝説上では[2. 源為朝]。

##### ②八十八重姫(優婆夷大神)伝説

⇒日本神話に由来。天照大神に国譲りした大国主命の息子である事代主命は、妃8人を伴い伊豆諸島を治めた。

その一人である八十八重姫は子とともに八丈島にわたり、島を開拓、統治したという伝説。

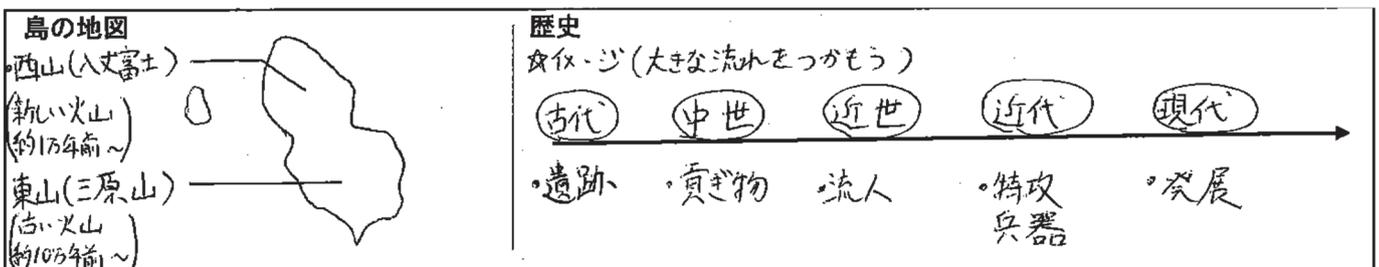
##### ③丹那婆伝説

⇒かつて八丈島に大津波が襲い、一人助かった女がいたという伝説から。この女が丹那婆である。

丹那婆は身籠っており、男児を産み、その子が成人後に母子交合して子孫を増やしたという。

穴埋め式プリントの一部(イメージ)

初めに八丈島の各地の構成年代や大まかな時代の特徴を説明し、八丈島を語る上でのキーワードを時代順に示した(下イメージ図)。



古代の歴史について、坂上地区で発見された湯浜遺跡(右上写真…出土した土器)、倉輪遺跡(右下写真…出土した遺体)を紹介した。島の中学生が発見のきっかけになったこと、これらの遺跡の発掘により八丈島に縄文文化がもたらされていたことが証明された点を強調した。八重根遺跡、火の瀉遺跡については触れる時間がなかった。



また、平安時代に保元の乱で活躍した源為朝が八丈島に流れ着いた伝説について触れ、島内ではいまなお「為朝神社」「為朝の凧」などで源為朝の痕跡を見ることができることを紹介した。かつて八丈島が「女護ヶ島」として知られており、ショメ節としても残っていることと、島に男を招き入れたのが源為朝であるという伝説についても紹介した。



中世史では、他を抑えた北条氏によって八丈島が治められたこと、代官が置かれ現在の長戸路屋敷のルーツになっていること、黄八丈をはじめとした織物を納めていたことを説明した。

近世史では、関ヶ原の戦いの簡単ないきさつを口頭で述べた後、宇喜多秀家（右写真…島に設置されている秀家像）が公式な流人第一号として島に流されたことを説明し、以後 1,900 人程度が流され“流人の島”としての認識につながっていくことを学ばせた。また、有名な流人として、近藤富蔵の八丈実記も紹介し、その内容の確実性に疑問の声が上がっていることなども触れた。



宇喜多秀家と豪姫の像

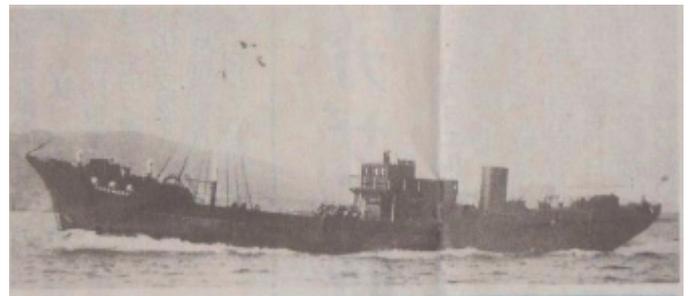
さらに、流人の記録などからわかる八丈島の飢饉の深刻さにも触れ、新島からもたらされたサツマイモが人々を救ったこと、碑が大里に存在することなどを学ばせた（右写真…八丈島甘諸由来碑）。



八丈島甘諸由来碑

近代史では、特に昭和期の戦争関連の知識を学ばせた。八丈島に配備された回天、震洋といった特攻兵器や東光丸（右下写真…東光丸）の碑などについて写真資料を確認させた。

現代史では伊豆諸島が一時的に GHQ の統治下におかれたこと、戦後のリゾートブームの中で八丈島が“東洋のハワイ”と呼ばれるなど人気観光地になっていったことなどについて触れた。



東光丸

最後に全 7 問のミニテストを実施した。近くの席の生徒と交換させ相互に採点させた。

#### ミニテスト例

①1962 年、三原中学校の生徒が磨製石器を発見したことで調査がすすめられた遺跡はなんというか。

（答え：湯浜遺跡）

#### 【成果と課題】

“黄八丈”、“源為朝”、“宇喜多秀家”といった島にまつわる語句は耳にしても、それらを体系的に結びつけるような学び方をしていない生徒が多かったと思われる。今回の授業で“八丈島史”という体系的な流れを理解させたのではないかと思う。授業の最後に実施したテストも高得点の生徒が多く、理解度は高かったと思われる。

八丈島の歴史は批判的検証がなされていない部分もいまだ多く、授業をするうえで基となる“教科書”がないため授業準備に苦労した。「八丈島史」や小学校の副読本である「わたしたちの八丈島」は大いに参考になる文献であった。八丈島について書かれた本は多いが、近藤富蔵の八丈実記を史実として扱っているものも多く、上記の通り八丈実記の検証が不完全であることから、どこまでを正しいこととして扱っていいかは授業者次第となってしまう。逆に言えば研究の余地が残されているともいえるので、歴史に関心のある生徒と共に基礎文献の読み込みなどができたら、大変価値のある活動となるだろう。



授業の様子

## 6. フェノロジーカレンダーの制作

【実施時期】 第1学年 1・2・3学期（7月～2月）

### 【目的】

- ・フェノロジーカレンダーの制作を通して、自然と人間社会のつながりについて理解する。
- ・グループでの制作を通して、グループ活動の意義について理解する。
- ・成果を形にし、発表することにより生徒の思考力・表現力・コミュニケーション能力を育成する。

### 【内 容】 ～八丈島の価値に気づき、島内外の人に伝える～

1学期の学習において、島の自然、歴史、文化、産業について学習をし、八丈島の価値について学んできた。その知識を生かし、フェノロジーカレンダーの作成を通して、地域の有識者へのヒアリングや八丈島の知識を横断的にまとめることにより、八丈島のさら更なる価値を発見すると共に、地域課題に気づかせる。

### 【授業の様子】



授業の様子



中間報告（1学期）



中間報告（2学期）

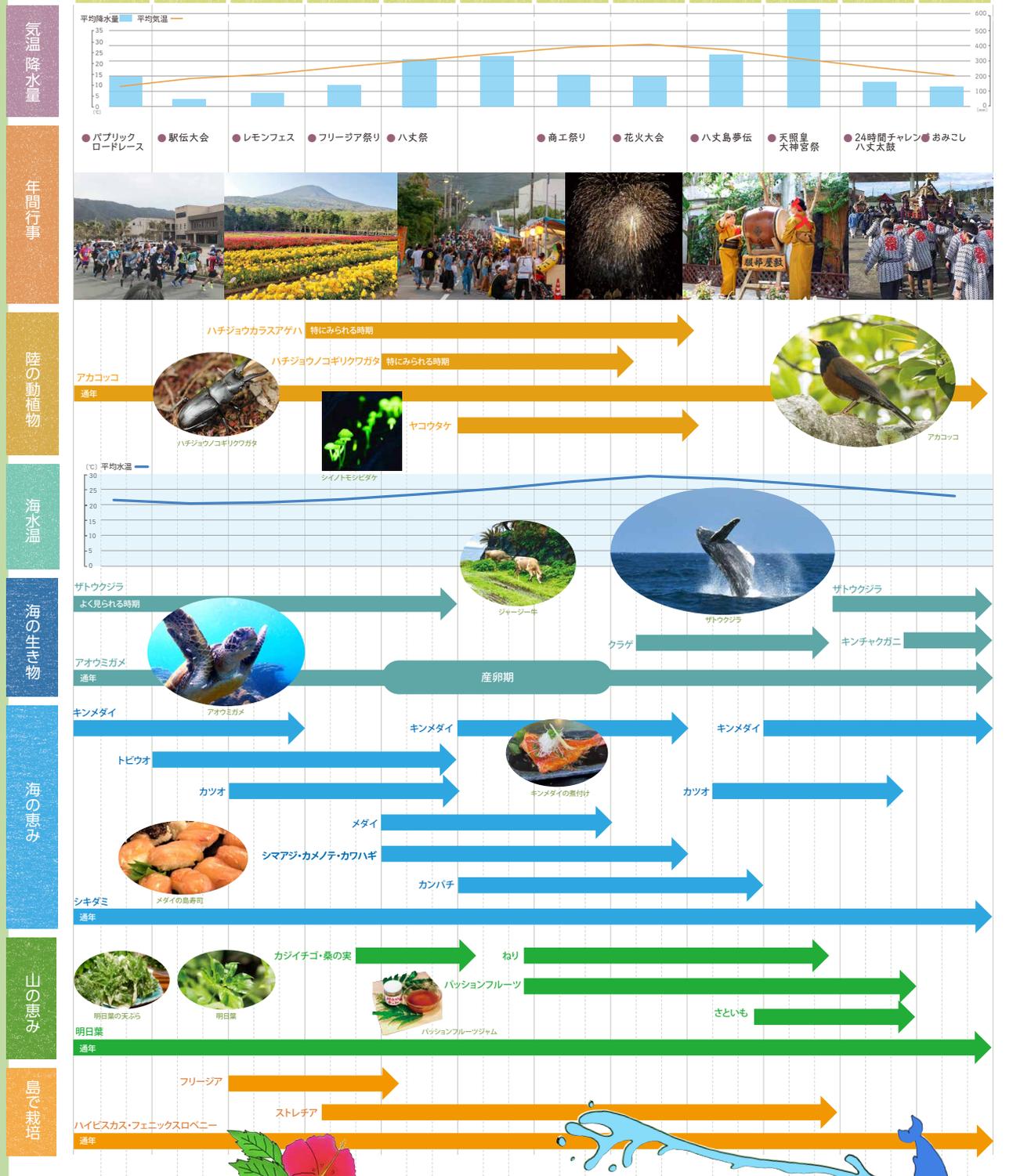


講師を招いてアドバイスをいただく

7. フェノロジーカレンダー（令和4年、令和3年、令和2年）

# オイ!ドンゴ!

## 八丈島楽しんでたか〜ねカレンダー



画像提供：八丈ビジターセンター、八丈島観光協会、リードパークリゾート八丈島

## 八丈島の歴史

**神域の発祥**  
 神域とは、神様が降りておられる場所のことです。八丈島には、八丈島神社や八丈島八幡宮など、多くの神域があります。また、島には多くの神社や寺があり、島民の生活と深く結びついています。

**歴史事件**  
 八丈島は、古くから人々の生活の場として存在してきました。島には、多くの歴史的事件があり、島民の生活と深く結びついています。

**牛相模の歴史**  
 牛相模は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの牛相模があり、島民の生活と深く結びついています。

**キウイ**  
 キウイは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのキウイがあり、島民の生活と深く結びついています。

**図1** 八丈島神社の境内  
**図2** 八丈島八幡宮の境内  
**図3** 八丈島神社の境内

**キャタピラ車 役場に突入す!!!**  
 八丈島には、キャタピラ車が活躍しています。島には、多くのキャタピラ車があり、島民の生活と深く結びついています。

## くさわ

**魚の下処理**  
 くさわは、魚の下処理に欠かせません。島には、多くのくさわがあり、島民の生活と深く結びついています。

**八丈島のくさわは特別**  
 八丈島のくさわは、新鮮でおいしいです。島には、多くのくさわがあり、島民の生活と深く結びついています。

**おすめ**  
 くさわは、おすめです。島には、多くのくさわがあり、島民の生活と深く結びついています。

**明日葉とヨコネ**  
 明日葉とヨコネは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの明日葉とヨコネがあり、島民の生活と深く結びついています。

## ホイ!ドンゴ!

**カレンダール**  
 カレンダールは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのカレンダールがあり、島民の生活と深く結びついています。

**今和4年度75期生**  
 今和4年度75期生は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの今和4年度75期生があり、島民の生活と深く結びついています。

**図1** 八丈島神社の境内  
**図2** 八丈島八幡宮の境内  
**図3** 八丈島神社の境内

## 光るキノコはどこに?!

**ピラミッド**  
 ピラミッドは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのピラミッドがあり、島民の生活と深く結びついています。

**光るキノコ**  
 光るキノコは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの光るキノコがあり、島民の生活と深く結びついています。

**図1** 八丈島神社の境内  
**図2** 八丈島八幡宮の境内  
**図3** 八丈島神社の境内

## 神饌花火

**お八丈**  
 お八丈は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのお八丈があり、島民の生活と深く結びついています。

**2023年3月**  
 2023年3月、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの2023年3月があり、島民の生活と深く結びついています。

**制作**：東京都立八丈高等学校75期生普通科生徒  
**協力**：八丈島お八丈センター / 八丈島お八丈センター / 八丈島お八丈センター / 八丈島お八丈センター

## SEA MONSTERS

**ピグミーシーホース**  
 ピグミーシーホースは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのピグミーシーホースがあり、島民の生活と深く結びついています。

**ナメチク**  
 ナメチクは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのナメチクがあり、島民の生活と深く結びついています。

**トラウツボ**  
 トラウツボは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くのトラウツボがあり、島民の生活と深く結びついています。

## 給食大作戦

**再現給食**  
 再現給食は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの再現給食があり、島民の生活と深く結びついています。

**歴代の給食**  
 歴代の給食は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの歴代の給食があり、島民の生活と深く結びついています。

**使われている食材**  
 使われている食材は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの使われている食材があり、島民の生活と深く結びついています。

## 黄八丈

**生糸を繅く**  
 生糸を繅くは、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの生糸を繅くがあり、島民の生活と深く結びついています。

**染料**  
 染料は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの染料があり、島民の生活と深く結びついています。

**特徴**  
 特徴は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの特徴があり、島民の生活と深く結びついています。

**歴史**  
 歴史は、島民の生活と深く結びついています。島には、多くの歴史があり、島民の生活と深く結びついています。

### 八丈におじりやわ〜●八丈島のフォトスポット

#### Photo spot

夕日ヶ丘  
八丈小島に重なる夕日が見える

植物公園  
八丈の自然を感じられるスポット

唐津  
八丈中の青春が詰まっている

空間倉  
おしゃれな店内やおいしい料理で満たされる

横間  
自然を駆け出した写真が撮れる

車で横間道路を通るときにきれいな夕日が見られる

### 八丈におじりやわ！ 四季カレンダー

令和4年3月25日  
制作：八丈町観光協会 八丈町観光協会 八丈町観光協会 八丈町観光協会  
協力：八丈町観光協会 八丈町観光協会 八丈町観光協会 八丈町観光協会

### 八丈島の観光スポット

- ① シューワーズの一体感
- ② カラ海
- ③ 養育の風景
- ④ カブト
- ⑤ 黒山神社
- ⑥ 養育の風景
- ⑦ フリーランド
- ⑧ 黒山神社
- ⑨ 養育の風景
- ⑩ ストリーク
- ⑪ 養育の風景
- ⑫ 養育の風景
- ⑬ 養育の風景
- ⑭ 養育の風景
- ⑮ 養育の風景
- ⑯ 養育の風景
- ⑰ 養育の風景
- ⑱ 養育の風景
- ⑲ 養育の風景
- ⑳ 養育の風景

### 八丈島が誇る大木と植物

八丈島には、大木と植物が豊富に育っています。その中でも、八丈島のシンボルとも言える大木と植物をご紹介します。

八丈島の自然を堪能してください。

### 八丈島の観光スポット

八丈島の観光スポットを詳しく紹介します。

観光地	住所	特徴
夕日ヶ丘	八丈町 夕日ヶ丘	八丈小島に重なる夕日が見える
植物公園	八丈町 植物公園	八丈の自然を感じられるスポット
唐津	八丈町 唐津	八丈中の青春が詰まっている
空間倉	八丈町 空間倉	おしゃれな店内やおいしい料理で満たされる
横間	八丈町 横間	自然を駆け出した写真が撮れる

### 八丈島の観光スポット

八丈島の観光スポットを詳しく紹介します。

### 八丈島の観光スポット

八丈島の観光スポットを詳しく紹介します。

### 八丈におじりやわ〜●八丈島のおすすめスポットと動物

八丈島のおすすめスポットと動物をご紹介します。

- 硫黄沼**  
硫黄成分が含まれている沼。季節や天候で違う色が見られる。写真撮るのもオススメ。
- 黒砂**  
火山の噴火で噴出した溶岩でできた砂が堆積した場所。開けていて絶景が見られる。
- メジロ**  
鳥島で市街地や住宅地などに生息。目の周りが白いのが特徴でかわいらしい見た目をしている。
- イタチ**  
ネズミ駆除のために導入。最近では繁殖して数が多くなっている。

### 八丈におじりやわ〜 四季カレンダー

八丈島の四季カレンダーをご紹介します。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気候	冬	冬	冬	春	春	夏	夏	夏	秋	秋	冬	冬
行事	八丈島まつり											
花	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜	桜

### 八丈におじりやわ〜●八丈島の美味しいもの

八丈島の美味しいものを紹介します。

- きんぽ**  
八丈島の伝統的な食べ物。美味しいです。
- 八丈島のカフェ**  
八丈島のカフェをご紹介します。

### 八丈におじりやわ〜●八丈島の美味しいもの

八丈島の美味しいものを紹介します。

- ハズレモンフェス 2022 HP**  
ハズレモンフェス 2022のホームページです。
- ハズレモンフェス**  
ハズレモンフェス 2022のイベントです。
- 千両**  
八丈島の伝統的な食べ物。美味しいです。
- 大産ファーム**  
八丈島の伝統的な食べ物。美味しいです。
- Kitchen 環**  
八丈島の伝統的な食べ物。美味しいです。

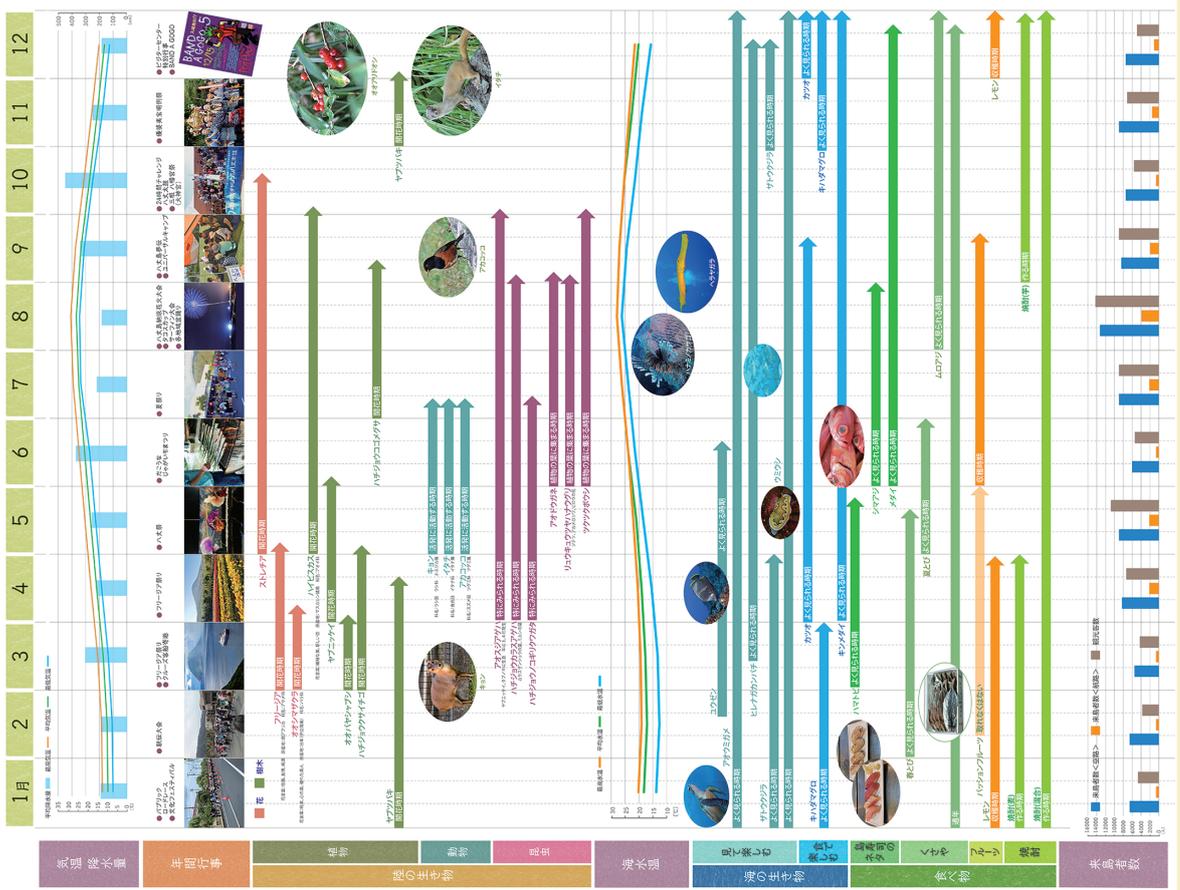
### 八丈におじりやわ〜●八丈島の景色

八丈島の美しい景色をご紹介します。

- 八丈島の景色**  
八丈島の美しい景色をご紹介します。
- 八丈島の景色**  
八丈島の美しい景色をご紹介します。

# 命の宝庫の 八丈でえしカレンダー

おじやりやれ でーじき けしけ みな笑顔  
「でーじけ」は八丈言葉で、青い魚、白い魚を指します。



八丈町観光課

## 八丈島でーじけ見える星盤

**春** 北斗七星  
春の大空に、スピカ 円弧上

**夏** イルカ座  
夏の天に三形星、さそり星、いて星 (天の川の淵)

**秋** カノオベ座  
秋の夜に、カノオベ座

**冬** スピル  
オリオン座、カノオベ座

## 島の伝統袖「黄八丈」

黄八丈は、島で伝統的に着られてきた、黄褐色の絹織物です。

**豆知識!**  
黄八丈は、島で伝統的に着られてきた、黄褐色の絹織物です。

## Hachijo Island ravel

### 八丈でえしカレンダーで島を知ろう!!

東京都八丈高等学校 73期生ごんごんプロジェクト

## 八丈島 おすすめスポット! 星をきれいです!

- 八丈富士
- 三葉山
- 八丈島自然公園
- 八丈島自然公園
- 八丈島自然公園
- 八丈島自然公園

### 高校生がおすすめするカナル入スポット

- カナル入スポット
- カナル入スポット
- カナル入スポット
- カナル入スポット
- カナル入スポット

### 温泉&足湯のご紹介

- 温泉&足湯
- 温泉&足湯
- 温泉&足湯
- 温泉&足湯
- 温泉&足湯

### 八丈島の動植物

- 動物
- 植物
- 動物
- 植物
- 動物

### 海の生き物たち

- 海の生き物
- 海の生き物
- 海の生き物
- 海の生き物
- 海の生き物

## 8. 八丈島の宝探し

### 【実施日時】

12月19日（月） 3・4時間目

### 【目的】

- ・八丈島に生息する光るきのこの種類や生態、分布について知る。
- ・フェノロジーカレンダーと企業の活動を比較し、自然と企業のかかわりについて理解する。

### 【講師】

長田商店（運営指導委員） 長田 隆弘 講師  
八丈町給食センター 大崎 維佐子 講師  
ビジターセンター 高須 英之 講師

### 【内容】

- ・八丈島の給食

「食」について調べるため、「八丈給食」を研究テーマに選びました。小・中学校で出されている「八丈給食」は八丈島の食材の美味しさを最大限に生かした児童・生徒たちにも人気のメニューです。調理センターに伺うことはできなかったのですが、八丈町給食センター栄養士の大崎維佐子様に講師としてお越しいただき、給食の歴史（全国及び八丈島）、食材はどこから購入しているか、八丈給食メニューと作り方などを教えて頂きました。



大崎氏から講話を聞く様子

- ・八丈島の自然

八丈島の陸の自然について調べるために、「光るきのこ」をテーマにして探究を進めています。日本に14種ある光るきのこの中の半数の7種類が八丈島に自生しています。しかし、八丈島で暮らしている生徒自身が自然下で自生している光るきのこを見た経験がほとんどなかったため、「光るきのこがどこに生えているのか」という疑問を基に八丈ビジターセンターの高須英之様にお話を伺いました。

- ・八丈島の伝統食材（くさや）

八丈島の伝統食材のくさやについて調べるために、材料となる魚、くさや液の特徴等について、製造会社の長田隆弘様からくさやについての生徒の知らない事柄についてお話を伺いました。

## 【成果と課題】

- ・「八丈給食」をいただく、作る。

大崎様にご指導いただき、「八丈給食」をより深く理解するため中学校に伺い、生徒と同じ給食を食べさせていただきました。また、中学生たちの給食を食べている様子や感想を聞くことができました。

この経験を基にして大崎様から頂いたメニューを見ながら八丈島の食材を使い、本校調理室をお借りして八丈給食を実際に作ってみました。食材は生徒のご家族の方が作っている野菜、八丈漁協から購入した新鮮な食材なども使い作りました。生徒たちは「八丈給食」を作りながら、『新鮮なものは栄養価も高い＝健康にも良い』、『地産地消は地域の発展にもつながる』などを学ぶことができました。

島の食材を使った料理の素晴らしさをどのように伝えていくのが、今後の課題です。



大崎様に習い、給食を作成している様子

- ・八丈島の自然

八丈ビジターセンターの高須様にお話を伺い、光るきのこの生態について詳しくお話を伺うことができました。それぞれの種類によって、自生している場所や生えている期間や光る部位等、これまでウェブサイトや書籍だけでは得ることができなかった知見を得ることができました。

八丈島に自生する「光るきのこ」の生態や価値についてより深く理解し、島内の方だけでなく島外の方に向けても伝えていくことが今後の課題です。

- ・八丈島の伝統食材（くさや）

くさやにする（主な）魚が、ムロアジ、トビウオになっているのは、当時（昔）はムロアジ、トビウオが多く取れていたからであるが、現在はいずれも漁獲量が少なくなっており、八丈近海で取れたものでなく、九州、四国、和歌山などから購入したムロアジでくさやを作成している。大島や新島のくさやはムロアジを取る漁師がいなく、他の地域から購入して作っている。そのため、同じくさやでも、八丈島近海でムロアジが取れている時期は大島、新島のくさやよりも新鮮なムロアジで作ることができるため、おいしいくさやを作ることができることが分かった。また、くさや液には乳酸菌が入っており、大学の研究者が調べたところ、薬品にもなりそうな乳酸菌が見つかるなど、くさや液の利用方法も多角的に考えられそうである。長田様は西洋料理の調理師との繋がりもあり、海外の「アンチョビ」と似たような使い方も考えられるので、海外進出など将来的に期待できる。ただし、くさや製造に携わる人が減ってきているのが問題となっている。

## IV. 八丈学 II

1. 令和4年度『八文学Ⅱ』年間授業計画

				概要	詳細
4月	15日	第1回運営指導委員会	島 民 会 議	合同授業	八文学Ⅰを1年生へ伝える
	22日			オリエンテーション	①八文学Ⅱの概要(教員紹介、島民会議、プレ個人探究の説明) ②マインドマップ
5月	6日			問を見つける①	①マインドマップ→興味 ※「興味×八文学Ⅱ」で議題への布石
	13日			問を見つける②	①興味→課題 ②島の課題、大人と話したい内容抽出(役場の意見も聞いておく→役場の総務課に聞いておく)
	27日			グループ探究(テーマ設定①)	①グループ分け ※班の数は10班前後(1班3人以上) ②テーマの背景を考える。
6月	10日	支庁展示終了		グループ探究(テーマ設定②)	①探究計画書の作成 ②調査、フィールドワーク、スライド作成
	17日			グループ探究(調査、資料作成①)	
	18日			グループ探究(調査、資料作成②)	調査、フィールドワーク、スライド作成
	24日				調査、フィールドワーク、スライド作成
7月	未定			グループ探究(調査、資料作成③)	調査、フィールドワーク、スライド作成
	未定			中間発表	
8月	課題			グループ探究(調査)	
9月	9日			グループ探究(調査、資料作成④)	調査、フィールドワーク、スライド作成
	18日 19日	八高祭		八高祭(調査の中間発表PTを掲示)	八高祭
	26日	第3回運営指導委員会			2年生で中間発表
10月	7日	プレ島民会議		プレ島民会議	プレ島民会議
	21日	学校運営協議連絡会		0	
	28日			プレ島民会議振り返り	プレ島民会議振り返り
11月	4日			グループ探究(調査、資料作成⑦)	プレゼンテーション研修
	10日	第4回運営指導委員会		0	調査、フィールドワーク、スライド作成
	11日		グループ探究(調査、資料作成⑧)	調査、フィールドワーク、スライド作成	
	18日		グループ探究(調査、資料作成⑨)	調査、フィールドワーク、スライド作成	
	25日	第8回コンソーシアム協議会	中間発表(2年、3年)	3or4グループに分けて、2年生、3年生の空いてる人、コンソーシアムで参加できる人	
12月	未定		グループ探究(調査、資料作成⑩)	調査、フィールドワーク、スライド作成	
	未定		グループ探究(調査、資料作成⑪)	島民会議事前打ち合わせ	
	21日	島民会議	『島民会議』	島民会議 午後に振り返り	
1月	13日		プレ個人探究オリエンテーション	宮下与兵衛先生(都立大学特任教授)講演会・講評	
	20日	第6回運営指導委員会	プレ個人探究オリエンテーション		
2月	3日		プレ個人探究テーマ設定①		
	10日		プレ個人探究テーマ設定③		
	17日		多摩・島嶼サミット準備		
	未定		多摩・島嶼サミット準備		
	17日	立川高校交流会	多摩・島嶼サミット(オンライン交流会)		
			個人 探 究		

## 2. 島民会議

【実施時期】 第2学年 1・2学期（4月～12月）

【学習目標】 ～八丈島の課題に気づき、解決の方法を探り、島民に伝える～

1年生の学習において、探究学習の手法を身に付けたことをふまえて、2学期末に行われる「島民会議」に向けての活動を行った。本活動は、八丈島についての課題を発見し、それを解決するための方策についての探究活動を実施し、最終的に八丈町に訴えるための意見書を考えることができることを目標とした。

### 【学習内容】

#### (1) 島民会議で話し合うテーマの設定

1学期の探究学習のテーマに基づき、島民会議で話し合うのにふさわしいテーマについて、生徒アンケートをとり、生徒と担当で構成される島民会議実行委員会により右記の11テーマにした。これらのテーマに対して、2学年普通科生徒38名が各班に分かれ、探究活動を行っていくことになった。

①海ゴミを利用したアクセサリーの開発と障害者福祉作業所への作業提案	
②海のゴミを減らす方策	③企業誘致について
④くさやのムロアジの代わりになる原材料の魚について	⑤リモートワークを利用した移住者増加について
⑥八丈島の公園の遊具・設備について	⑦雄のジャージー牛を利用したレシビの開発について
⑧町内バスの新タイヤについて	⑨野良猫カフェについて
⑩町立病院へのMRIの導入について	⑪八丈高校の標準服化について

#### (2) 実際の活動

担当教員および地域協働学習支援員の指導・支援の下、グループごとに探究をすすめた。具体的には、翌週までに調べてくる内容をグループ内で分担し、フィールドワークに行ったり、民間企業にインタビューを実施したり、アンケート調査を行ったりすることで知識を深め、協働で発表資料を作成した。調べ学習の傍ら、ファシリテーション研修や、教員主催の発表資料の作成・発表方法に関する研修を受講し、ファシリテーターやプレゼンターとしての知識技能を習得した。また、当日の会場設営については、グループごとに工夫を凝らし、より良い島民会議になるよう準備をした。



島民会議全体会の様子



島民会議分科会の様子

### 【成果と課題】

島民会議に向けた活動で、生徒たちは探究活動の実践をグループで分担して行うことができた。今年度は、昨年度の課題を生かし、生徒自らが行いたいテーマを実施したため、最後まで積極的に探究活動を実施することができた。また島民会議を踏まえて、新しい疑問等が生じたことにより、島民会議後も同じテーマの追及を引き続きグループで行っていきたいという声もあった。一方で、協議の回数がプレ島民会議と島民会議のみであるため、生徒の協議する力を伸ばす点が課題である。次年度以降は、小さい規模ではあるが、発表や協議の回数を増やしたい。

## 島民会議総括

### 1. 生徒の探究活動について

昨年度の反省から、探究のテーマとグループ決めについては、最初から最後まで興味のあるテーマを探究させ、フィールドワークの回数も昨年度より、多く行った。その結果、生徒は興味をもって最後まで探究活動をすることができた。また、調査する段階で多くの壁にぶつかったが、四苦八苦しながらも乗り越え、最終的にはテーマについてしっかり向き合い、内容を深める探究活動ができた。

探究活動の課題としては、生徒の意見、島民会議参加者の意見からもあったが、協議する回数が少なく、議論する力をさらに伸ばした方がよい。次年度については、小規模で地域の方と協議する機会を設けることが必要である。また、毎年の活動をデータベース化し、先輩から後輩への引継ぎ資料を行う必要もある。

### 2. 島民会議の運営について

運営に関しては、昨年度の経験が生き、比較的スムーズに当日を迎えることができた。また、受付、全体会の司会等、昨年度は教員が主として担当していたものが、生徒が担当し、島民会議全体を生徒によって運営することができた。次年度は、実行委員会等がさらに中心になり、より生徒中心の運営にできるとよい。また、教員が行っていた運営全体に関しても、地域協働学習実施支援員など、地域に段階的に移行する必要がある。

島民会議の内容の時間配分について、生徒との協議の時間が少ない（昨年度に比べて、今年度は20分程度増であったが）という意見が多くあった。全体会①についての通信機器の問題（音声の質など）もあることから、全体会①を縮小し、分科会の時間を増やすように次年度は実施したい。全体会②についても、1分程度の分科会報告では、分科会の概要は話すことができないため、検討したい。

島民会議の参加者については、昨年度の一般参加者は、興味のある方が多かったが、今年度は町議、PTA、大学教授、その他八丈町で様々な活動の中心になっている方などが参加した。このことから、八丈島、その他の地域について、島民会議が浸透しつつあり、「高校生が地域を変える」という1つの目標に大きく前進していると考えられる。



# 島民会議

いつも心に八丈を

島を憂い

変えてゆく

## 参加者募集！！

日時 12月21日（水）午前9時30分から午後0時20分まで  
参加申し込み（締切 11月30日（水））

QRコードまたは八丈高校地域協働事務局  
(2-1182)まで参加のご連絡をお願いします。  
※応募者多数の場合は、校内で検討の上、決定  
いたします。





## V. 八丈学Ⅲ

1. 令和4年度『八文学Ⅲ』年間授業計画

		概要	詳細
4月	15日	合同授業	・「八文学Ⅰ・Ⅱ」の取組を発表し、八文学の授業の概要について知る。
5月	6日	個人探究（調査）	・個人探究のテーマを設定し、調査を行う。担当教員の決定。
	13日	個人探究（調査）	
	27日	個人探究（調査）	
6月	17日	個人探究（調査・グループ内発表）	・担当教員のもと、個人探究に取り組む。グループによっては発表活動を行う。
	18日	個人探究（調査・グループ内発表）	
7月	15日	中間発表会リハーサル	・普通科の八文学、併合科の課題研究の中間発表会を行い、相互の研究内容を知る。
	19日	普通科・併合科中間発表会	
8月	課題	個人探究（レポート作成）	
9月	9日	個人探究（レポート作成）	・八高祭に提示するレポートの作成。展示発表
	14日	八高祭準備	
	17日 18日	八高祭	
	30日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	・個人探究成果発表会にむけて、プレゼンテーションの作成
10月	7日	プレ島民会議参加	・プレ島民会議において、2年生の提案についてアドバイスをする。
	21日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	・個人探究成果発表会にむけて、プレゼンテーションの作成。終了した人から島民会議の補助に入る。
	28日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	
11月	4日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	・個人探究の成果を生徒・保護者・地域に発
	5日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	
	18日	個人探究（プレゼンテーションの作成）	
	25日	個人探究成果発表会	
12月	9日	島民会議補助	・2学年主体の島民会議について、2年生にアドバイスする。
	16日	島民会議補助	
	21日	『島民会議』	
1月	13日	要探究成紀	・探究紀要の作成をA4版1枚で作成する。
	20日	要探究成紀	
	27日	要探究成紀	
2月	自宅学習期間		
3月	自宅学習期間		

## 2. 個人研究

【実施時期】第2学年3学期（1月～3月）・第3学年

【学習目標】①探究活動を応用し、研究を深める。  
②自分自身と向き合い、進路を進める。

八文学Ⅰ・Ⅱを経験し、「島民会議」を経た3学年は『自分自身を知る』、『探究の技能を身に付ける』という内容に関しては、学年までに育成されていた。3学年になり、自己の将来に向けての進路活動が現実になる時期に、2学年までに培ってきた探究方法を応用して進路を進めることにより、八丈島と自己に対して向き合い、社会に参画することを考えることにより、八丈島の将来を支える人材を育むことが目標である。

【学習内容】

個人研究のテーマに関する分野ごとに、担当教員を設置したゼミ形式で実施した。それぞれの教員の専門性を生かして、理系、文系、看護医療系、保育系進学希望、その他の分野のゼミで構成した。授業内容は、毎週打合せを行い、生徒の探究進捗の状況把握と、指導・助言を実施することを重点とした。また、1学期末には中間報告や発表会を実施、2学期には個人探究の研究報告書の作成などを行った。

【進行について】

本年度の3学年は、3年間地域協働活動を実施した第1期生であり、教員とともに八文学を開発、牽引していた生徒である。はじめての取り組みであっても、堂々と自分のやりたいことを主張できる態度が育っている。受験校の変更等の多少の変更はあったが、普段の授業で自分と向き合うことを行っているため、進路が途中で大きく変更になる生徒はいなかった。それに合わせて自分の学習を調整し、課題の変更を行い、ゼミの移動をするなど、積極的に授業に関わっていた。先生方も柔軟に対応し、積極的に生徒に進言することで結果的に生徒の進路指導を支えてくれていた。今年度より担任が八文学に入ることになったが、ぜひ来年度も担任の教員に担当をしてほしいと考えている。また、進路に係るので、八文学Ⅲは生徒を良く知る教員や進路指導の教員が担当となるのが望ましいと考える。

担当者	探究課題	担当者	探究課題
風間・前川	ギターから考える SDGs	鈴木	島の出産について
風間・前川	蛍水路の調査と外来種の活用	鈴木	八丈島にふさわしい幼児施設
風間・前川	合宿	鈴木	保育士不足
風間・前川	八丈の海（魚）	鈴木	島での出産
風間・前川	飲食店の HP	鈴木	赤ちゃんポストについて
風間・前川	塩害対策	鈴木	0脚改善
風間・前川	早押しゲームを電子回路から	高岡	八丈の車の交通事故を減らす
風間・前川	音波による消火について	高岡	島たくあんソーセージの開発
風間・前川	漂着船の漂流ルート予測の探求	高岡	児童養護施設
風間・前川	ペットボトルハイブリッドロケット	高岡	デザインのインスピレーション
風間・前川	八丈島の海	高岡	島たくあんソーセージ
風間・前川	麻雀における教育と健康の可能性について	高岡	八丈島におけるスポーツツーリズムの可能性
風間・前川	蛍水路の調査と外来種の活用	高岡	バブル経済
風間・前川	雨の中に含まれるプラスチックとその影響	杉山	海のためにできること
加藤	アルバイトのハラスメント	杉山	八丈方言を継承していくために
加藤	黄八丈のブランディング計画	杉山	八丈島の異文化理解を深める
加藤	アルバイトのハラスメント	杉山	島民会議について
加藤	猫の保護活動	杉山	八丈島のマップ
加藤	ヘアケアについて	杉山	海のためにできること
加藤	地域協働プロジェクト	杉山	環境ラベル

### 3. 八文学Ⅲ補足資料

#### 探究タイトル

#### 島たくあんソーセージに関する探究

##### ○探求の背景（経緯）

担当の高岡先生から

島たくあんソーセージの製作を進められたことをきっかけに、島の新しい商品開発、島の活性化に繋がって欲しいという思いでテーマを立てました。

##### ◎探究方法

秋田県の名物「いぶりがっこソーセージ」を参考にし、千両の島たくあんと大竜ファームのうみかぜ椎茸を使って島たくあんソーセージの製造をしました。



##### ◎探究結果

##### ○1回目（豚ひき肉牛ひき肉）

- ・肉がボソボソしていて、ソーセージ感が全くない。
- ・肉の味が強くたくあん、海風しいたけの味がしない。
- ・皮のパリッと感がない。
- ・茹でた時に油が流れ出てしまった。



##### ○2回目（豚ひき肉・豚バラ）

- ・たくあんと椎茸を大きく切りすぎて味の主張が強すぎた。
- ・肉がボソボソしていた



##### ○3回目（豚挽き肉）【成功】

- ・ソーセージのパリッとした
- ・たくあんと島等の量がちょうどよかった
- ・肉汁があった



##### ○試食してもらった感想

- ・食感がいい
- ・たくあんの味がしっかりする
- ・皮のパリッと感があった
- ・見た目がいい

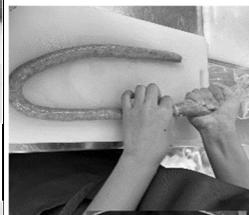
##### ◎探究の考察

##### ○成功のために行った解決策

- ・ミキサーで滑らかになるまで混ぜる
- ・余計なものを入れない
- ・氷を沢山入れて肉汁を溜める

特産品を作るには何回も繰り返しチャレンジしなくてはいけないこと、アイデアやお金が必要だということがよくわかりました。

島には多くの特産物があるから、今回島たくあんソーセージを作ったように、島の特産品をもっと売り出せば特産物をより観光の方や島外の方に知ってもらえると思いました。



##### ◎探究発表を終えて

2年の時から高岡先生がずっと言っていた島たくあんソーセージを実現できてよかったです。もっと早くから製造して、飲食店での提供、お土産として空港で売ることの交渉まで行けたらよかったですなと思いました。面白いテーマで研究できて楽しかったです。

## 探究タイトル

### 八丈島のマップを作る

#### ● 気づく

##### 1. 課題設定

近年では国際化が積極的に進められている。よって情報は誰にでも伝わるように示す必要がある。そのため国際化に伴ってデザインについて考えることは必要不可欠なのではないかと考えた。以下、どのようなデザインが適切に情報を伝え、わかりやすいのか調査した。また、それを用いて八丈島の地図の制作を計画した。

##### 2. 仮説

私は直感的にわかるデザインが人を惹きつけるのでは無いかと考えた。また東京オリンピック・パラリンピックでよく目にした「ピクトグラム」から着想を得て、文字を使わず形で表すような単純化したデザインが適しているのではないかと考えた。

#### ● 深める

##### 3. 目的



誰にでも伝わるデザインを考える上で、興味を引きつける、わかりやすい、見やすいといった3つの観点が大切である。3つの共通

部分に加え、なんの情報を伝えるかでもデザインは変わってくるため、それを加味し考える必要がある。そのため、今回は八丈島の地図を作ることに限定し、調査を行った。

##### 4. 調査

以下の2点で調査を行った。

###### ○今ある八丈のマップを比較

「八丈観光マップ」は分類ごとに表裏に地図が分けられている、イラストで書かれているといった特徴があった。「八丈観光地図」

は地域で色分けされている、写真掲載という特徴

がある。「Hachijo island guide map」にはひとつのトピックで1冊になっている、サイズが小さいという特徴があった。

###### ○今ある地図に対しての意見を聞く

観光業を行っている島民の方にお話を伺った。情報を詰め込みすぎると文字が小さく見づらい、持ち運びしやすく小さくすると情報が少なくなる、何冊にも分けることで持ち運びづらいが、必要な情報だけ選ぶことが出来る、デカルト座標を読む人が少ないといった意見を頂いた。

#### ● 伝える

##### 5. 結果

調査結果は以下の4つであった。

- ① シンプルなデザイン
- ② 情報が多い、なおかつ文字が見やすく持ち運びやすいサイズ感
- ③ ひつような情報だけ欲しい
- ④ データ化は賛否両論(持ち運びやすいが、使いづらさを感じる方もいる)

##### 6. 実践

調査結果を踏まえたマップにするために「レイヤーマップ」というものを考えた。「レイヤーマップ」とは、ジャンルごとに透ける地図を作り、それを基盤の地図に重ねて、必要な情報だけを読み取れるマップである。

##### 7. 結論

今回は制作できなかったため、この探究を活かし、今後試作品を作りたい。



## 探究タイトル

### 環境ラベルについて

#### ◎探究の背景（経緯）（内容）

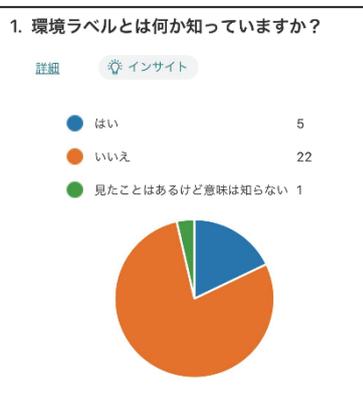
私は国際教養に興味をもっており、SDGs の 15 番に挙げられている「陸の豊かさを守ろう」について、調べることにした。その際に消費者の環境に与える影響の大きさに着目し、環境ラベルについて深く追究することとした。

#### ◎探究方法

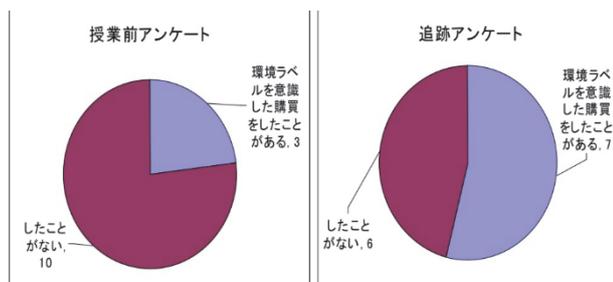
- ① アンケートによる認知度調査
- ② 文献調査（書籍・インターネット）
- ③ 統計調査の引用

#### ◎探究結果

① アンケートによる認知度調査では、学年の生徒を対象とし、環境ラベル自体の認知度、主たる環境ラベルの認知度等について調査を行った。その結果が図 1 となっており、多くの生徒は認知できていなかった。



②そこで認知を行うことで、どのように行動に変化が出るかを文献で調査した。認知による行動の変化の結果、図 2 となっており、認知後には大きな変化がみられた。



#### ◎探究の考察

##### ①環境ラベルが影響を与える方法について

- 1 有効性評価：個人の消費者が汚染対策において効果的であると信じる程度を指している。
- 2 社会的規範（同調圧力）：道徳的・社会的責任感がゆる〜くエコ購買意図にプラスの影響をあたらせる（一部証明）
- 3 人間自然関係思考：人間は自然の一部であり、自然を支配すべきではない！という考え方  
→エコ購買意図にプラスの影響を与える（一部証明）

以上の 3 点を利用して広めるには、有効性評価→日本政府が認定しているラベルの存在（企業独自で認定しているものなどもある）を利用することが考えられる。

【事例】BLAUER ENGEL ドイツで誕生した世界初の環境ラベルで、ドイツ政府が認定した特定の製品にのみ、表示できる。実際にドイツでは 90% の国民が意識しており、消費者の 23% が意識して買っている。

##### 【日本政府認定の環境ラベル】



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



グリーンマーク

#### ◎探究発表を終えて

受験勉強と両立して行うのは大変だったが、調べることによって日本やドイツ、環境に対する考え方を学ぶことができた。

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/ilcaj/2008/0/2008\\_0\\_184/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/ilcaj/2008/0/2008_0_184/_pdf/-char/ja)

## 探究タイトル

### 雨の中のプラスチック

#### ◎探究の背景（経緯）

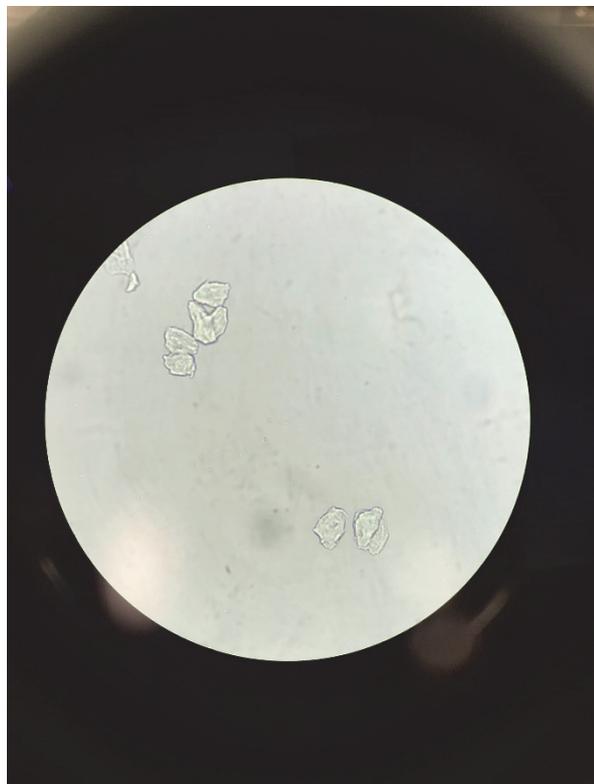
ふとニュース記事を見た時、現在の日本には空気中にもプラスチックが含まれている、というものを見つけた。私はそのことに衝撃を受け、また、あることを考えた。八丈島は風や波が強く、プラスチックが打ち上げられやすい環境にあるのではないかと。そこから、打ち上げられたプラスチックが風に乗り、核となって雨が形成されると考えた。そこから、雨に含まれるプラスチックについて調査しようと考えた。

#### ◎探究方法

実際に雨を採集し、そこに含まれるプラスチックを顕微鏡によって調査した。

#### ◎探究結果

実際に採集した雨の中から極小のプラスチック片が確認できた。



#### ◎探究の考察

この探究活動の結果から、実際に雨の中にプラスチックが含まれる可能性はあると考えられる。しかしながら、私の行った探求の方法では、試行回数や正確性が非常に低いものとなっているため、これだけで雨にプラスチックが含まれるという事柄は断定することはできない。しかし実際に探究活動を行う中で、現在の環境問題についてなどを考えることができた。

また、この探求を行った後、私は環境にプラスチックが混ざってしまうことによる悪影響について調べた。そこでは、生き物の体に対する悪影響や、人間の体にプラスチックが入ってしまった時の悪影響について知ることができた。そこでは、人間がひと月あたりクレジットカード一枚分のプラスチックを食べているということや、プラスチックが人間のプラスチックが人間の血管の中から見つかったというようなことを知り、非常に驚かされた。

#### ◎探究発表を終えて

私たちは環境のために働くべきだ。といった話を近年になってよく聞くようになったと思う。私もその意見には賛成ではあるものの、その理由や実際に何が起きているのかに対する造形は非常に浅いものであったと思う。せいぜい海ゴミなどの拡大が問題になっている程度だ。しかし今回探究活動を通じて、様々のことを学び、環境やプラスチックについて考えることができた。この活動による経験は今後の人生での選択に大いにかかわることだと思う。もし環境などに興味を持っている方がこれを読んでいるのなら、ぜひこの探求を引き継いで深めていただきたいと思う。

結びに、この研究活動に協力していただいた教員の皆様に、深く感謝を申し上げます。



## VI. 学校設定教科・科目

## 1. 郷土文化（郷土芸術・郷土文化実習・海洋文化）

教科・科目名	郷土文化・「郷土芸術」「海洋文化実習」「郷土文化実習」
単位数	いずれも2単位
対象学科・学年	普通・併合科・3学年※郷土芸術については普通科2学年も選択可
必履修・選択の別	選択
設定する教科・科目の内容	<p>学校設定教科「郷土文化」では、八丈島の自然や文化を知るために「郷土芸術」「海洋文化実習」「郷土文化実習」を設置している。</p> <p>「郷土芸術」</p> <p>八丈島には多くの芸能があるが、その中心となるのが八丈太鼓である。人が集まれば太鼓を演奏するぐらい島民にとっては身近な物であり、八丈太鼓を習っている生徒も少なくない。</p> <p>本授業では八丈太鼓の文化的な歴史や、島内における価値を考えるだけではなく、実際に八丈太鼓を演奏することで文化の継承を行う物である。9月には文化祭で授業発表、2月の芸術発表会の舞台上で発表して広く島民にも聞いてもらっている。</p> <p>「海洋文化実習」</p> <p>海に囲まれた島ならではの学習として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキューバダイビングの学科講習と実技指導。</li> <li>・八丈島の海岸生物の採集・観察。</li> <li>・ビーチコーミング（漂着物調査等）</li> </ul> <p>を学習する。</p> <p>「郷土文化実習」</p> <p>八丈島の名前の由来となったとされる黄八丈は、繭を製糸にする工程こそ行っていないものの、黄色、赤、黒の染めから機織りまでを島内で全て行っている。特に、草木染めや泥染めはとても大変な工程である。本授業では、黄八丈の伝統的価値やその作り方の工程を学び、校内にある機織りを使って実際に黄八丈を織ることで、その難しさとおもしろさを体験的に学習し、伝統継承の一端とする。</p>
その他特記事項	これらの科目はいずれも地域の外部講師を招いて、体験的に行う学習活動になっている。

## (1) 郷土芸術



実技指導の様子①



実技指導の様子②



実技指導の様子③



実技前の様子



発表の様子①



発表の様子②

### 【成果と課題】

生徒に対して、「なぜ伝統文化を学ぶのか」という問いかけからはじめ、八丈太鼓の演奏技術だけでなく、伝統文化・伝統芸能への理解を高めることができた。また、特別専門講師の先生に、直接、八丈島の歴史や方言についても教えてもらったことで、島の文化を違った角度から学ぶことができた。

今後については、今年度はコロナ禍で外部の方に発表する機会は限られたが、文化継承の担い手として、島内での祭りなど広く演奏の場に参加するようになってほしい。履修した生徒の満足感が高いが、履修人数が減少しているのが課題であり、学校として科目選択の指導をどのように行っていくかを検討していく必要がある。

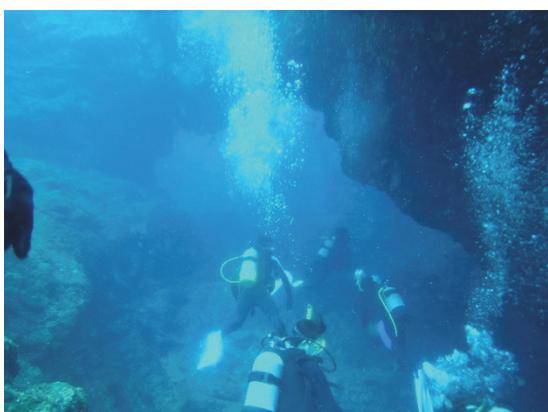
## (2) 海洋文化実習



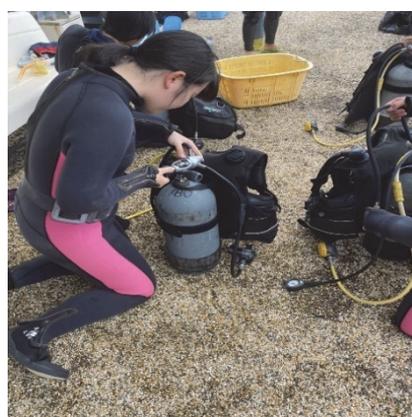
シュノーケル講習の様子



海洋実習の様子①



海洋実習の様子②



機材の安全確認



陸上での講義



プール実習の様子

### 【成果と課題】

体験を通して、八丈島の自然豊かな海について学ぶことで地域の価値の再認識につながった。また、ダイビングを通して、初めて見る海の姿に新たな価値の発見にもつながった。

地域の魅力を認識することで「守りたい」、「伝えたい」と考えるようになった。今後は「守る」、「伝える」を実際に行動に移すことができるよう指導していきたい。

### (3) 郷土文化実習



授業の様子



反物制作の様子①



糸制作の様子



染め体験の様子



織物製作の様子



反物制作の様子②

#### 【成果と課題】

大きく分けて「染め」と「織り」の二つを学習することができた。「染め」では、八丈島の植物を使って染める「草木染め」のこと。「染め」の過程で用いられる媒染剤などについての知識を得ながら、体験的な学習ができた。「織り」については、ひたすら織る中で黄八丈の価値に気付くことができた。しかし、これらの学習をより体系的な形にする必要がある。

## 2. 保健体育総合

教科・科目名	保健体育・保健体育総合
単位数	3単位
対象学科・学年	普通科・3学年
必履修・選択の別	選択
設定する教科・科目の内容	<p>体育研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の研究テーマに対する知識を深める。</li> <li>・習得した知識を小論文形式で原稿用紙にまとめる。</li> <li>・各自が他者も理解しやすい手段を学び、実際の動きを通して伝達する。</li> <li>・学習指導案を作成し授業実践を行う。</li> </ul> <p>保健研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八丈島での健康及び環境問題について調査し、問題解決の糸口を探す。</li> <li>・深まった知識を、効果的な方法で発表し、より多くの人に自分の考えを伝える。</li> <li>・八丈島で特に人々の健康を現在脅かす、又は今後脅かす可能性のある事柄について調査</li> <li>・自分が興味を持った保健分野に関する事項について八丈島の現状と照らし合わせ調査、考察する。</li> <li>・発表用の資料のスライドを作成する。</li> <li>・3学年全生徒に対し発表を行う。</li> </ul>
その他 特記事項	<p>平成 29 年度履修人数 5 名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島の自然災害について」「水海山（八丈島の水源）の環境問題について」「八丈島の高齢化と人口減少について」「八丈島の廃棄物問題について」</li> </ul> <p>平成 30 年度履修人数 5 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島の地震について」「八丈島の高齢化について」「海の中の危険生物について」</li> </ul> <p>平成 31 年度履修人数 2 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島の紫外線問題について」「八丈島のごみ処理問題について」</li> </ul> <p>令和 2 年度履修人数 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島の健康問題について」「八丈島のスポーツ振興について」「八丈島の熱中症対策について」「八丈島の観光資源について」</li> </ul> <p>平成 3 年度履修人数 3 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島のゴミ問題について」「八丈島の災害について」「八丈島の紫外線問題について」</li> </ul> <p>令和 4 年度履修人数 4 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な研究テーマ「八丈島の防災と災害について」「八丈島の人口減少問題について」「八丈島の軽石問題について」「八丈島のスポーツ実施の現状と課題について」</li> </ul>

## 令和4年度の研究テーマ

### 【体育分野】

「バスケットボールにおけるスリーポイントシュート技術」

「サッカーにおけるパスとトラップの極意」

「アルティメットにおけるスロー技術」

「バドミントンにおける質のいいスマッシュを打つために」

### 【保健分野】

「八丈島の防災と災害について」「八丈島の人口減少問題について」

「八丈島の軽石問題について」「八丈島のスポーツ実施の現状と課題について」



体育分野の指導実践の様子



保健分野の研究発表の様子

### 【成果】

- 運動の技術伝達において実際に自分が指導をする立場となり実践することで、指導の難しさを実感するとともに、段階的、個別的な学習方法の重要性について理解することができた。
- リハーサルを行い、グループで問題点を指摘しあうことで確実に指導技術を高めていくことができた。目標とする技術を受講者が身に付けることができた時に、指導者としての喜びや達成感を味わうことができた。
- 八丈島について保健分野をテーマに探究的な学習を進めて行くことで、島の現状や健康課題を実感するとともに、地域との協働でその対応策を考えていく必要性を理解することができた。
- 他者との話し合い、発表などのプロセスを通して、他の知識との関連を考え、理解を深めることができた。

### 【課題】

- 生徒の取り組む課題について、教員も精通して研究すること。
- 安全への配慮や段階的学習についての助言を細かく行うこと。
- 情報収集にあたり、地域との連携を視野に入れ、関連施設の訪問を行うこと。
- 研究内容が実際生活に即し、島内で実践できる内容となるよう、指導の方向付けを行うこと。
- 調査した内容の発表にとどまらないよう、考察した内容を重視し充実させること。

### 3. 教養の社会

教科・科目名	公民・教養の社会
単位数	2単位
対象学科・学年	普通科・3学年
必履修・選択の別	選択
設定する教科・科目の内容	<p>学校設定科目「教養の社会」では、自分の進路に関する課題や八丈島に関する課題を解決するために、教養を幅広く身に付けさせるとともに、発表の機会を多く設けることでプレゼンテーション能力を高め、自らの考えを表現し、主張できるように育成することを目標としている。</p> <p>1学期は、自分の進路に関する課題について調べ、発表し、レポートにまとめた。また、地理歴史の教養についての講義を行った。</p> <p>2学期は、自分の進路のみにかかわらず、自分の興味関心に基づいた調べ学習を行い、発表し、レポートにまとめた。生徒によっては地域との関わりについて調べた生徒もいる。また、政治経済の教養についての講義を行った。</p> <p>この科目においては探究活動をきっかけに、自発的により深い学びとなることを期待できる科目である。</p>
その他 特記事項	<p>&lt;履修人数&gt;</p> <p>令和2年度…26名</p> <p>令和3年度…6名</p> <p>令和4年度…20名</p> <p>&lt;生徒が掲げた発表内容&gt;</p> <p>令和4年度は、「八丈島の虫について」、「韓国の文化」、「空港の活用」などを生徒が自分でテーマ設定し、発表した。</p>

#### 令和4年度の学習内容

##### 【1学期に行った活動】

自分の進路に関する課題について調べ、発表し、レポートにまとめた。発表時は発表に対して、聞いている人全員からコメントをもらい、レポート作成に反映させた。地理歴史の教養についての講義を行った。

##### 【2学期に行った活動】

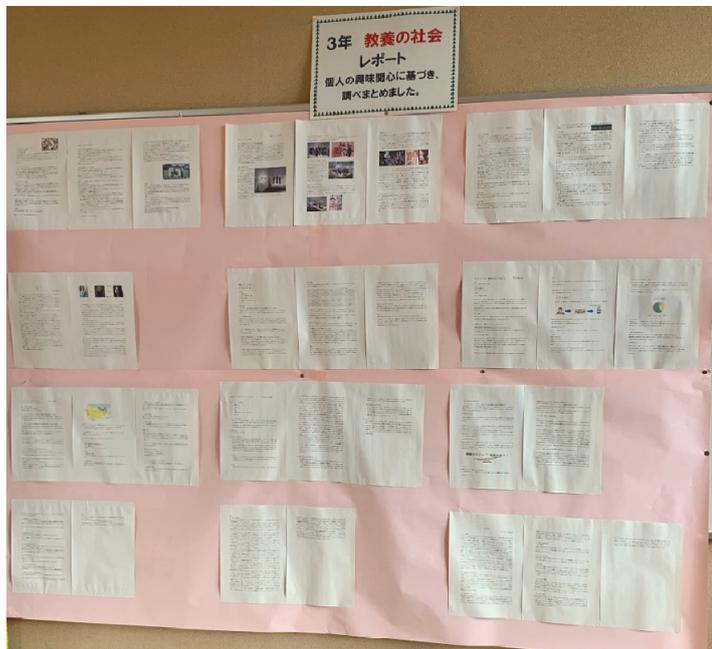
自分の進路のみにかかわらず、自分の興味関心に基づいた調べ学習、発表し、レポートにまとめた。1学期同様、発表時は発表に対して、聞いている人全員からコメントをもらい、レポート作成に反映させた。政治経済の教養についての講義を行った。

## 【成果と課題】

自分で設定したテーマに対して調査を行い、発表することで、表現力をつけるだけでなく、異なる立場の意見を知ることができた。このことから、様々な角度から、世の中の事象を考察する視点を養うことができた。八文学Ⅲの個人探究活動と連動しながら、学習することもできた。

レポート作成については発表を行ったうえで、コメントをもらい、それをふまえたレポートを書くことができた。2学期も同様の活動を行うことで、さらに深みのある学習活動を展開することができると考えている。

課題としては、受講者数が多いこともあり、発表に時間がかかり、レポート作成のための時間が授業内で取れず、生徒個人の課題として残ってしまっている。昨今では Microsoft Teams の機能を使って、生徒のレポートを教員と共有しながら、見ることも可能になっているので、そういった機能を生かしながら、生徒に個別的な指導を行っていく。



レポートの展示



発表の様子



VII. 私たちの八丈島の歴史・伝統・文化等の  
系統的な学びの全体計画

# 1. 系統的な八丈島の地域学習

## 系統的な八丈島の学び全体計画

令和2年12月25日  
 都立八丈高校「八丈やろんごんプロジェクト」

大分類	環境	歴史	文化	生活
中分類	環境、自然、地理、生物	歴史	文化、伝統	生活、暮らし、産業
小分類	山、海、気候、地理、エネルギー、地殻、動物、植物	歴史、人物、出来事	萬八丈、くさや、八丈方言、玉石垣、八丈太鼓	生活、暮らし、農業、漁業、観光業、生活産業、伝統産業
小学校1学年	花を咲かせる植物の観察を通じて、生命の不思議さを感じながら種の中を想像する。 ・植物の栽培や観察を通して、季節の特徴や違いを身に覚えさせる。 ・自然を五感で感じる。 ・自然を五感で感じる。 ・自然を五感で感じる。 ・自然を五感で感じる。 ・自然を五感で感じる。 ・自然を五感で感じる。	自分自身の生活や成長を振り返り活動を通して、自分の成長を振り返る機会をもち、成長を振り返る。	八丈方言を楽しむこと、方言の歴史や特徴を知る。・八丈方言の歴史や特徴を知る。	学校の施設や学校生活を支えている人々、通学路やその安全を守る支えている人々を認識し、関わりを持つ。 ・八丈島の野菜の栽培 ・八丈島の昔あそび
低学年 生活科				
小学校2学年				
小学校3学年	・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の生き物や植物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。	【総合】さつまいもを栽培しよう（サツマイモの歴史）	・八丈方言について学んだりゲームをしたりして、八丈方言に触れ合おう。八丈島の五地域の方言の違いを知る。 ・八丈方言の歴史や特徴を知る。 ・八丈方言の歴史や特徴を知る。 ・八丈方言の歴史や特徴を知る。 ・八丈方言の歴史や特徴を知る。 ・八丈方言の歴史や特徴を知る。	・学校の施設や学校生活を支えている人々、通学路やその安全を守る支えている人々を認識し、関わりを持つ。 ・八丈島の野菜の栽培 ・八丈島の昔あそび
中学校 理科・社会 (地域の学習) 総合的な学習の時間				
小学校4学年	・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。			
小学校5学年				
小学校6学年				
高校 理科・社会 (全国の学習) 歴史・地理・歴史 総合的な学習の時間				
小学校6学年	・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。 ・八丈島の春の作物の成長や動物の活動と季節の関連性について観察し、観察の楽しさを身に付ける。			
小学校6学年				
小学校6学年				



## 2. 教科横断的な学習シート

### 2021年 2学期 1学年 普通科「教科横断的な学習」シート

期間	地域A	数学1	科学と人生	保健体育	芸術(音楽)	芸術(美術)	芸術(書)	COM1	社会と情報	家庭基礎	八木学1	
9月	<p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p>	<p>1. 2次関数の値の変化</p> <p>2. 2次関数の最大・最小</p>	<p>1. 科学と人生と基礎系における科学的思考の発展(18～19)</p> <p>2. 基礎系と発展系(18～19)</p>	<p>1. 健康と健康増進(18～19)</p> <p>2. 健康と健康増進(18～19)</p>	<p>1. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p> <p>2. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p>	<p>1. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p> <p>2. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p>	<p>1. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p> <p>2. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p>	<p>1. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p> <p>2. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p>	<p>1. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p> <p>2. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p>			
10月	<p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p>	<p>1. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p> <p>2. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p>	<p>1. 科学と人生と基礎系における科学的思考の発展(18～19)</p> <p>2. 基礎系と発展系(18～19)</p>	<p>1. 健康と健康増進(18～19)</p> <p>2. 健康と健康増進(18～19)</p>	<p>1. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p> <p>2. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p>	<p>1. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p> <p>2. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p>	<p>1. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p> <p>2. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p>	<p>1. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p> <p>2. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p>	<p>1. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p> <p>2. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p>			
11月	<p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p>	<p>1. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p> <p>2. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p>	<p>1. 科学と人生と基礎系における科学的思考の発展(18～19)</p> <p>2. 基礎系と発展系(18～19)</p>	<p>1. 健康と健康増進(18～19)</p> <p>2. 健康と健康増進(18～19)</p>	<p>1. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p> <p>2. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p>	<p>1. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p> <p>2. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p>	<p>1. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p> <p>2. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p>	<p>1. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p> <p>2. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p>	<p>1. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p> <p>2. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p>			
12月	<p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p> <p>【現代文】形態文法「複合句」など地域研究中間報告「アジア州」</p>	<p>1. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p> <p>2. 2次関数のグラフと直線の位置関係</p>	<p>1. 科学と人生と基礎系における科学的思考の発展(18～19)</p> <p>2. 基礎系と発展系(18～19)</p>	<p>1. 健康と健康増進(18～19)</p> <p>2. 健康と健康増進(18～19)</p>	<p>1. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p> <p>2. 音楽の歴史と音楽の発展(18～19)</p>	<p>1. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p> <p>2. 美術の歴史と美術の発展(18～19)</p>	<p>1. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p> <p>2. 書道の歴史と書道の発展(18～19)</p>	<p>1. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p> <p>2. 漢字の歴史と漢字の発展(18～19)</p>	<p>1. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p> <p>2. 英語の歴史と英語の発展(18～19)</p>			





## VIII. 学校の概要

# 1. 学校の概要

## (1) 学校名・校長名

学校名 東京都立八丈高等学校  
校長名 佐藤 俊一

## (2) 所在地・電話番号・FAX番号・URL

所在地 〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷3020  
電話 04996-2-1181  
FAX 04996-2-3738  
URL <http://www.hachio-h.metro.tokyo.jp/>

## (3) 学級数

課程	科	1年	2年	3年	4年	計
全 日 制	普 通 科	2	2	2		6
	併 合 科	1	1	1		3
	計	3	3	3		9
定 時 制	普 通 科	1	1	1	1	4
全 校		4	4	4	1	13

## (4) 職員数

課程	校長	副校長	主幹教諭	主任教諭	教諭	主幹養護教諭	実習教諭	一般職非常勤講師	実習助手	嘱託員	講師	英語指導助手	市民講師	事務職員	主事	司書	栄養士	計
全 日 制	1	1	1	11	13	1	0	2	4	0	3	1	3	7	2	0		67
定 時 制		1	2	2	3						6	1					0	

課程	校医	歯科医	薬剤師	スクールカウンセラー	計
全 日 制	1	1	1	2	5
定 時 制					

(給食調理員・警備員は民間委託) (事務職員はローテーション勤務)

## (5) 生徒数

			1年	2年	3年	4年	計
全 日 制	普 通 科	男	24	19	19		62
		女	17	20	21		58
		計	41	39	40		120
	園 芸 科	男	3	1	0		4
		女	2	1	1		4
		計	5	2	1		8
	家 政 科	男	1	0	0		1
		女	2	2	7		11
		計	3	2	7		12
	計	男	28	20	19		67
		女	21	23	29		73
		計	49	43	48		140
定 時 制 普 通 科	男	0	3	3	6	12	
	女	3	2	4	1	10	
	計	3	5	7	7	22	
全 校	男	28	23	22	6	79	
	女	24	25	33	1	83	
	計	52	48	55	7	162	

(令和4年5月1日 現在)

## 2. 令和2年度入学生教育課程表

各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間の週当たりの授業時数配当表

【東京都立八丈高等学校】

普通科（令和2年度入学生）

各教科・科目	学年 種類 必修・選択	標準 単位数	1学年		2学年		3学年			※科目ごとの履修 単位数
			必修	学校必修	必修	学校必修	必修	学校必修	自由選択	
国語	国語総合	4	5(2)			2(1)e		3(1)f		5~10
	国語表現	3						3(1)g	3(1)l	0~6
	現代文B	4				2(2)		2(2)		4
	古典A	2				2(1)e		2(1)j		0~4
地理歴史	古典B	4						3(1)g		0~3
	世界史A	2				3(2)				3
	世界史B	4						5(1)kl		0~5
	日本史A	2				3(2)				3
公民	日本史B	4						5(1)kl		0~5
	地理A	2		2(2)		2(1)c				2~4
数学	現代社会	2						3(2)		3
	倫理	2						2(1)k		0~2
	数学Ⅰ	3	3(3)					3(1)g2(1)h2(1)j		3~10
	数学Ⅱ	4				4(3)M				0~4
	数学Ⅲ	5						6(1)fg		0~6
理科	数学A	2		2(3)						2
	数学B	2				2(1)c				0~2
	科学と人間生活	2	2(2)							2
	物理基礎	2				2(2)o				2
	物理	4						5(1)kl		0~5
	化学基礎	2				2(1)e				0~2
	化学	4						4(1)ij		0~4
保健体育	生物基礎	2				2(2)o				2
	生物	4						5(1)kl		0~5
芸術	理科課題研究	1						2(1)h		0~2
	体育	7~8	3(3)			2(3)		2(3)	3(1)l	7~11
	保健	2	1(2)			1(2)				2
	音楽Ⅰ	2	2(2)a							0~2
	音楽Ⅱ	2				2(2)b				0~2
	音楽Ⅲ	2						3(1)f	3(1)l	0~6
	美術Ⅰ	2	2(2)a							0~2
	美術Ⅱ	2				2(2)b				0~2
外国語	美術Ⅲ	2						3(1)f	3(1)l	0~6
	書道Ⅰ	2	2(2)a					3(1)g		0~5
	書道Ⅱ	2				2(2)b				0~2
家庭情報公民	書道Ⅲ	2						3(1)f		0~3
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	4(3)							4
	コミュニケーション英語Ⅱ	4				3(3)				3
	コミュニケーション英語Ⅲ	4						3(4)		3
	英語表現Ⅰ	2				2(2)d		2(2)h2(2)i		0~6
保健体育	英語会話	2				2(1)c				0~2
	家庭基礎	2	2(2)							2
情報	社会と情報	2	2(2)							2
	教養の社会	2						2(1)h		0~2
保健体育	保健体育総合	3						3(1)g		0~3
	数学基礎演習	4				4(3)M				0~4
情報	情報基礎	2				2(1)d				0~2
普通教科・科目単位数計				28		23~29		16~27		67~84
農業	総合実習	2				2(3)d		2(3)j		0~4
	生物活用	2				2(1)e				0~2
	植物バイオテクノロジー	2						2(1)h		0~2
家庭	子どもの発達と保育	2				2(2)c		2(1)i		0~2
	服飾手芸	2				2(2)e				0~2
	服飾文化	2						2(1)i		0~2
	食品	2						2(1)k		0~2
	ファッションデザイン	2				2(1)d				0~2
郷土文化	農業熱帯園芸	2						2(1)i		0~2
	郷土芸術	2				2(1)c		2(1)i		0~4
	海洋文化	2						2(1)j		0~2
八文学	郷土文化実習	2						2(1)k		0~2
	八文学Ⅰ	1		1(2)						1
専門教科・科目単位数計				0		0~6		0~8		1~14
総合的な探究の時間				1(1)		1(2)		2		4
ホームルーム活動				1		1		1		3
生徒一人当たりの履修単位数計				31		30		27~30		88~91

### 3. 令和3年度入学生教育課程表

各教科・科目，特別活動及び総合的な学習の時間の過当たりの授業時数配当表  
 【東京都立八丈高等学校】 普通科（令和3年度入学生）

各教科 ・科目	学 年 類 型	標準 単 位 数	1 学年		2 学年		3 学年			※科目ご との履修 単 位 総 数	
			必修	学校必修	必修	学校必修	必修	学校必修	自由選択		
											必修
国 語	国語総合	4	4(2)			2(1)e		3(1)f		4~9	
	国語表現	3						3(1)g		0~3	
	現代文B	4				2(2)		2(2)		4	
	古典A	2				2(1)b		2(1)j		0~4	
	古典B	4						3(1)g		0~3	
地理 歴史	世界史A	2			3(2)					3	
	世界史B	4						5(1)kl		0~5	
	日本史A	2			3(2)					3	
	日本史B	4						5(1)kl		0~5	
	地理A	2		2(2)		2(1)b				2~4	
公民	現代社会	2						3(2)		3	
	倫理	2						2(1)k		0~2	
	政治・経済	2						2(1)h		0~2	
数 学	数学I	3	3(3)							3	
	数学II	4				4(2)M				0~4	
	数学III	5						6(1)fg		0~6	
	数学A	2		2(3)						2	
	数学B	2				2(1)c				0~2	
理 科	科学と人間生活	2	2(2)							2	
	物理基礎	2			2(1)o					0~2	
	物理	4						5(1)kl		0~5	
	化学基礎	2				2(1)e				0~2	
	化学	4						4(1)ij		0~4	
	生物基礎	2			2(1)o					0~2	
保健 体育	生物	4						5(1)kl		0~5	
	体育	7~8	3(3)		2(3)	2(1)d	2(3)		3(1)l	7~12	
保 健 体 育	保健	2	1(2)		1(2)					2	
	音楽I	2	2(2)a							0~2	
芸 術	音楽II	2				2(1)c				0~2	
	音楽III	2						3(1)f		0~3	
	美術I	2	2(2)a							0~2	
	美術II	2				2(1)c				0~2	
	美術III	2						3(1)f		0~3	
	書道I	2	2(2)a							0~2	
	書道II	2				2(1)e				0~2	
	書道III	2						3(1)f		0~3	
	外 国 語	コミュニケーション英語I	3	3(3)							3
		コミュニケーション英語II	4				3(3)				3
コミュニケーション英語III		4						3(3)		3	
英語表現I		2		2(2)						2	
英語表現II		4				2(2)d		2(1)h2(1)i		0~4	
英語会話		2				2(1)b				0~2	
家庭 情報	家庭基礎	2	2(2)						2		
公 民	社会と情報	2	2(2)							2	
	教養の社会	2						2(1)h		0~2	
保 健 体 育	保健体育総合	3						3(1)g		0~3	
数 学	数学基礎演習	4				4(1)M				0~4	
	数学α	2						2(1)j		0~2	
	数学β	3						3(1)g		0~3	
	数学看護医療系	2						2(1)h		0~2	
情 報	情報活用	2				2(1)b				0~2	
	情報基礎	2				2(1)d				0~2	
芸 術	書道実践	2						3(1)g		0~3	
普通教科・科目単位数計			28		22~28			16~27		66~83	
農 業	総合実習	4~8				2(3)d		2(3)j		0~4	
	生物活用	2~4				2(1)e		2(1)h		0~4	
家 庭	子どもの発達と保育	2~6				2(1)e				0~2	
	生活と福祉	2~4				2(1)d				0~2	
	フューチャーズ	2~6						2(1)i		0~2	
音 楽	音楽理論	2						2(1)i		0~2	
	演奏研究	2						2(1)k	3(1)l	0~5	
	ソルフェージュ	2						2(1)j		0~2	
美 術	美術概論	2						2(1)i		0~2	
	素描	2						2(1)k	3(1)l	0~5	
	構成	2						2(1)h		0~2	
	絵画	2				2(1)e		2(1)j		0~4	
農 業	熱帯園芸	2					2(1)i		0~2		
郷 土 文 化	郷土芸術	2				2(1)b		2(1)i		0~4	
	海洋文化	2						2(1)j		0~2	
	郷土文化実習	2						2(1)k		0~2	
八 丈 学	八丈学I	1		1(1)					1		
専門教科・科目単位数計			1		0~6			0~11		1~18	
総合的な探究の時間			1(1)		1(1)			2		4	
ホームルーム活動			1		1			1		3	
生徒一人当たりの履修単位数計			31		30			27~30		88~91	

# 4. 令和4年度入学生教育課程表

各教科・科目、特別活動及び総合的な学習の時間の週当たりの授業時数配当表

【東京都立八丈高等学校】		普通科（令和4年度入学生）							
学校名	東京都立八丈高等学校	課程	全日制		コース			普通科（令和4年度入学生） 学年：(2) 学級数：(2)	
各教科・科目	学年 標準 単位数	1学年		2学年		3学年			※科目ごとの履修 単位数
		必修	学校必修	必修	学校必修	必修	学校必修	自由選択	
国語	現代の国語	2	2(2)						2
	言語文化	2	2(2)						2
	文学国語	4			2(2)		2(2)		4
	論理国語	4						4(1)hi	0~4
	国語表現	4						4(1)lm	0~4
地理歴史	古典探求								
	地理総合	2	2(2)						2
	地理探究	3						4(1)hi	0~4
	歴史総合	2	2(2)						2
	日本史探究	3			3(1)b				0~3
公民	世界史探究	3			3(1)b				0~3
	公共	2		2(2)					2
	倫理	2					2(1)n		0~2
	政治・経済	2					2(2)		2
	数学I	3	3(3)						3
数学	数学II	4			4(2)c				0~4
	数学III	3					4(1)hi		0~4
	数学A	2	2(3)						2
	数学B	2			2(1)e				0~2
	数学C	2					2(1)j		0~2
理科	科学と人間生活	2	2(2)						2
	物理基礎	2		2(1)d					0~2
	物理	4					5(1)no		0~5
	化学基礎	2			2(1)g				0~2
	化学	4					4(1)lm		0~4
保健体育	生物基礎	2		2(1)d					0~2
	生物	4					5(1)no		0~5
	地学基礎	2							
	地学	4							
	体育	7~8	3(3)		2(3)		2(3)		7
芸術	保健	2	1(2)	1(2)					2
	音楽I	2	2(1)a						0~2
	音楽II	2			2(1)o				0~2
	音楽III	2					2(1)j		0~2
	美術I	2	2(1)a						0~2
	美術II	2			2(1)o				0~2
	美術III	2					2(1)j		0~2
	工芸I	2							
	工芸II	2							
	工芸III	2							
外国語	書道I	2	2(1)a						0~2
	書道II	2			2(1)o				0~2
	書道III	2					2(1)j		0~2
	英語コミュニケーションI	3	3(3)						3
	英語コミュニケーションII	4			4(3)				4
家庭情報	英語コミュニケーションIII	4					4(3)		4
	論理・表現I	2	2(2)						2
	論理・表現II	2			2(1)f				0~2
	論理・表現III	2					2(1)k		0~2
	家庭基礎	2		2(2)					2
理数	家庭総合	4							
	情報I	2	2(2)						2
	情報II	2					2(1)k		0~2
	理数探究	2					2(1)j		0~2
	古典基礎	2			2(1)o				0~2
地歴	国語探究	2			2(1)g				0~2
	古典演習	2					2(1)m		0~2
	日本史演習	5					5(1)no		0~5
	世界史演習	5					5(1)no		0~5
	地理演習	2					2(1)j		0~2
公民	政治・経済演習	2					2(1)k		0~2
	教養の社会	2					2(1)k		0~2
	数学基礎演習	4			4(1)o				0~4
	数学α	2					2(1)i		0~2
	数学β	2					2(1)m		0~2
芸術	共通テスト対策数学	2					2(1)j		0~2
	理科	2					2(1)l		0~2
	体育α	2			2(1)f				0~2
	体育β	3						3(1)o	0~3
	保健体育総合	3					2(1)i		0~2
情報	書道実践	2					2(1)h		0~2
	英語会話	2					2(1)l		0~2
	情報活用	2			2(1)g				0~2
	情報基礎	2			2(1)f				0~2
	人間と社会	1							1
共通教科・科目単位数計			28		24~28		16~27		68~83
音楽	音楽理論基礎	2					2(1)l		0~2
	ソルフェージュ演習	2					2(1)m		0~2
	器楽演習	2					2(1)k		0~2
	演奏研究α	2					2(1)n		0~2
	演奏研究β	3						3(1)o	0~3
美術	基礎構成	2					2(1)k		0~2
	美術概論基礎	2					2(1)n		0~2
	絵画基礎	2					2(1)m		0~2
	素描基礎	3						3(1)o	0~3
	保育基礎	2~6			2(1)g				0~2
家庭	生活と福祉	2~4			2(1)f				0~2
	フードデザイン	2~6					2(1)l		0~2
	栽培と活用	2			2(1)g				0~2
	栽培と加工	2			2(1)f				0~2
	熱帯園芸	2					2(1)l		0~2
農業	園芸と活用	2					2(1)k		0~2
	園芸と加工	2					2(3)m		0~2
	海洋文化	1					2(1)m		0~2
	専攻八丈学I	1	1(1)						1
	専攻八丈学II	1							1
総合的な探究の時間			1		1		2		4
ホームルーム活動			1		1		1		3
生徒一人当たりの履修単位数計			31		30		27~30		88~91



## IX. 資料編

●令和4年5月号

## やろこん!プロジェクト(令和3年度総括)

八文学Ⅰでは、昨年度に引き続き**フェノロジーカレンダー**(季節暦)の制作と、新たに**観光PR動画**の制作を行いました。八丈島の資源の発見や新たな気づきで、1年前よりも生徒達の目の輝きが増し、発言も多くなり、授業が活発となりました。次年度は地域課題の探究を通して、八丈島と自分を深堀していく授業になります。今年の成果に自信を持ち、更に大きく成長していく事を願っています。

八文学Ⅱでは『**地域課題×探究**』をテーマとして、興味のある分野の探究学習を行いました。2学期には集大成として『**島民会議**』を実施し、生徒と大人が島の課題や未来を真剣に話し合う場となりました。違った視点からの意見に双方気づきがあり、参加いただいた皆さまからは「とてもよかった。」「勉強になった。」とお声いただきました。生徒たち自身も、探究して伝える過程は自信につながったように思います。次学年の八文学Ⅲでは『**進路×探究**』を踏まえた個人研究へと入っていきます。

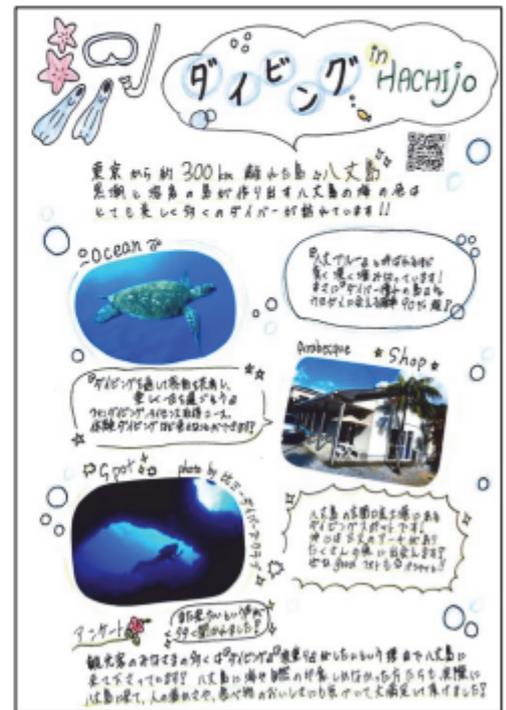
八文学Ⅰ、Ⅱ、そして来年度より始まる八文学Ⅲを通して、生徒たちの地域に出ていく機会が増えてまいります。地域の皆さまにはぜひ温かく見守っていただき、時には共に**地域協働学習**について考えていただけましたら幸いです。

### ▼八文学Ⅱの島民会議の様子



▲立川高校との発表交流会

### ▼八文学ⅠPR動画のチラシ



都立八丈高等学校 ☎2-1181

●令和4年7月号

## 『八文学』の3年目がスタートしました!

2020年より取り組んできた、本校独自の地域探究プログラムである「八文学」もとうとう3年目に突入いたしました。昨年度は1年生がフェノロジーカレンダー(季節暦)と観光PR動画、2年生は大人と真剣に話し合う「島民会議」を行いました。

この授業は八丈島をテーマに「気づく」「深める」「伝える」の探究学習です。生徒達も先生も地域住民も試行錯誤しながら、郷土愛と探究心を育む授業を重ねています。今年も応援とご指導をよろしくお願いいたします。



◆昨年度のフェノロジーカレンダー(八丈高校HPにて公開中)

「八文学」の授業はどなたでも見学可能です!(事前申し込み制)

日時等詳しくは、  
やろこんプロジェクト Twitter や  
八丈高校 HP をご覧ください。

八丈高校HP <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>  
やろこんプロジェクト Twitter <https://twitter.com/8jogaku>  
問合せ先 八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 ☎2-1182



◆昨年度の島民会議ポスター

## 今年度も八文学に注目！！1学期の活動状況！！

八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 ☎2-1182

### 八文学Ⅰ

八丈島の季節の暦（フェノロジーカレンダー）を作成するために、気候、植物、魚など八丈島に関する様々なことを学んでいます。

### 八文学Ⅱ

島民会議に向けて調査が始まっています。自分達で設定した八丈島の課題とその解決策を探るために、役場・企業など地域に出て調査をしています。今年の島民会議は12月21日(水)に実施予定です。

### 八文学Ⅲ

「八丈島の空気中のマイクロプラスチック量」や「八丈島で起業できること」など、個人探究を着々と進めています。



八文学Ⅰ  
フェノロジーカレンダーの試作の様子



八文学Ⅱ 課題・解決策の設定の様子

「八文学」の授業はどなたでも見学可能です！（事前申し込み制）  
日時等詳しくは、やろこんプロジェクト Twitter や八丈高校 HP をご覧ください。  
やろこんプロジェクト Twitter <https://twitter.com/8jogaku>  
八丈高校 HP <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>



やろこんPJ八丈高校  
Twitter HP



2. 東京都八丈町役場発行「広報はちじょう」（抜粋）

●令和4年6月号

## 八丈やろごんプロジェクト3年目！ 八文学Ⅲが今年度より開講しました！

文部科学省指定の地域協働事業「やろごんプロジェクト」が3年目を迎えました。本校独自の地域探究プログラム「八文学」は、今年度「八文学Ⅲ」が開講し、普通科の1学年から3学年が学びます。特に、高校3年生は八文学の3年間の集大成となる個人探究学習を行います。



「八文学」の授業はどなたでも見学可能です（事前申し込み制）！日時等詳しくは、やろごんプロジェクトTwitterや八丈高校HPをご覧ください。

◎八丈高校HP <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

◎やろごんプロジェクトTwitter <https://twitter.com/8jogaku>

■問い合わせ■ 八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 電話 2-1182



八丈高校HP



やろごんプロジェクト  
Twitter

●令和4年7月号

## 令和3年度の「フェノロジーカレンダー」が出来上がりました

1年生（八文学Ⅰ）のテーマである、フェノロジーカレンダーができました。昨年度は「観光」をテーマとし、カレンダー以外にも、島のPR動画も制作しました。生徒達は時間をやりくりし、仕上げることができました。「深める」や「調べる」事が足りない部分もありましたが、島内で貼り出された時はぜひご覧ください。QRコードからの動画もご覧ください。

今年度のフェノロジーカレンダーは「仕事」×「八丈島」をテーマにカレンダーを作る予定です。

また、2年生（八文学Ⅱ）は、今年度も「島民会議」を実施します。12月を予定していますので、是非ともご参加ください。3年生（八文学Ⅲ）は、個人の探究を深め、コンテストなどに応募する予定です。



「八文学」の授業はどなたでも見学可能です（事前申し込み制）！日時等詳しくは、やろごんプロジェクトTwitterや八丈高校ホームページをご覧ください。

★八丈高校HP <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

★やろごんプロジェクトTwitter <https://twitter.com/8jogaku>

■問い合わせ■ 八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 電話 2-1182



八丈高校HP



やろごんプロジェクト  
Twitter

## 今年も 八文学 に注目！！

**八文学Ⅰ** 八丈島の季節の暦（フェノロジーカレンダー）を作成するために、八丈島についていろいろ学んでいます。

**八文学Ⅱ** 島民会議に向け、考えたテーマの調査が始まり、様々なところに調査に出ています。今年の島民会議は12月21日（水）に実施予定です。

**八文学Ⅲ** 「八丈島の空気中のマイクロプラスチック量」や「八丈島で起業できること」など、個人探究を着々と進めています。

「八文学」の授業はどなたでも見学可能です（事前申し込み制）！ 日時等詳しくは、やるごんプロジェクトTwitterや八丈高校ホームページをご覧ください。

◎八丈高校ホームページ <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

◎やるごんプロジェクトTwitter <https://twitter.com/8jogaku>

■問い合わせ■ 八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 電話 2-1182



八丈高校  
ホームページ



やるごんプロジェクト  
Twitter

## 八丈高校 やるごんプロジェクト 令和4年度「島民会議」

今年度も、八丈島の地域課題の解決策を八丈高校の生徒、教員、そして地域の方々が協議し、新しい八丈島の価値などに気づくことを目的とした場である『島民会議』を12月に実施します。それに向けて、生徒間で協議内容を進めています。

**【島民会議】 12月21日（水） 午前9時30分から午後0時20分**

高校生の提案に協議者として参加して下さる方を募集します。申込方法など、詳しくは折り込みチラシをご覧ください。

（申込締切：11月30日（水））

実行委員会を中心に  
話を進めています！



—— 生徒からの一言 ——

僕たちは八文学での探究活動を通して、毎時間、八丈島の新たな課題や魅力に気づかされています！  
そんな魅力や課題を島民会議で皆さんと協議できることを楽しみにしています！  
たくさんのご応募お待ちしております！

（島民会議実行委員長 2学年 菊池健介）

「八文学」の授業はどなたでも見学可能です（事前申込制）。日時等詳しくは、やるごんプロジェクトTwitterや八丈高校ホームページをご覧ください。

★八丈高校ホームページ★ <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

★やるごんプロジェクトTwitter★ <https://twitter.com/8jogaku>

■問い合わせ■ 都立八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 電話 2-1182



八丈高校  
ホームページ



やるごんプロジェクト  
Twitter

## 八丈高校 やるごんプロジェクト 八文学Ⅲ 成果発表

11月25日の午後1時から、本校体育館で八文学Ⅲ（個人探究）の発表会が行われました。今回は、それぞれのブースに聞きに行く『ポスターセッション』という形式での発表でした。

『やるごんプロジェクト』の一期生として、3年間学校を引っ張ってきた73期の生徒達、最後までやりきりました！お疲れ様でした。当日は保護者を含めた島民11名に参加いただきました。ご支援どうもありがとうございました！



◀八文学Ⅲ成果発表  
パンフレット

ポスター発表の様子▶



「八文学」の授業はどなたでも見学可能です（事前申込制）！  
日時等詳細は、やるごんプロジェクトTwitterや八丈高校ホームページをご覧ください。

★八丈高校ホームページ★ <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

★やるごんプロジェクトTwitter★ <https://twitter.com/8jogaku>

■問い合わせ■ 都立八丈高校全日制教務部・地域協働事務局 電話 2-1182



八丈高校  
ホームページ



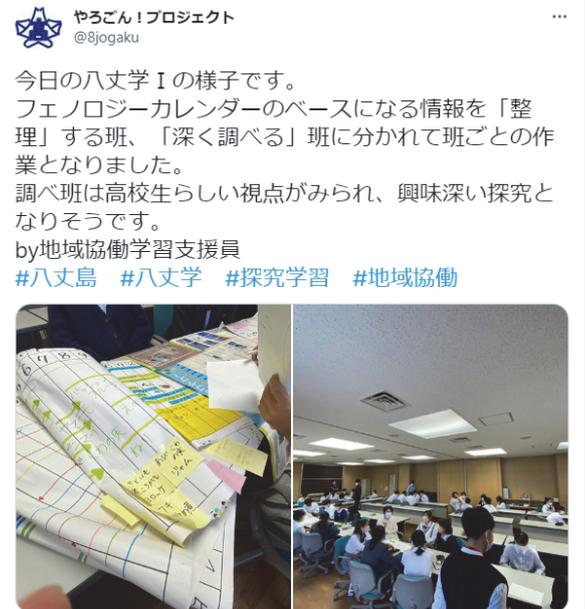
やるごんプロジェクト  
Twitter

### 3. Twitter (抜粋)

<https://twitter.com/8jogaku> (毎回の授業を地域協働学習実施支援員が更新)



#### ●八丈学 I



#### ●八丈学 II





やろごん！プロジェクト @8jogaku・11月25日

...

八文学Ⅲです。本日11/25は地域住民と1～2年生も参加して、これまでの探究学習の発表を行いました。個々に探究した課題はどれも興味深く、また、取り組む姿勢は大人達も学ぶべきものだと感じました。12/21は島民会議！申込み切は11末。ぜひご参加ください。[#八丈島](#) [#八文学](#) 地域協働学習支援員 大類



# 4. 探究フォーラム（発表資料）



## 八丈“やろごん プロジェクト！”



東京都立八丈高等学校 ～地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）～

### 1. 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）とは

平成 30 年 3 月に公示された新しい高等学校学習指導要領を踏まえ、Society 5.0 の社会を地域から厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進するため、「経済財政運営と改革の基本方針 2018（2018 年 6 月 15 日閣議決定）」や「まち・ひと・しごと創生基本方針 2018（2018 年 6 月 15 日閣議決定）」に基づき、高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等との協働によりコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進します。（文部科学省 HP）



文科省 HP より

### 2. 学校・地域の体制

#### 八丈高校グランドデザイン

- ①目標の実現のために、自主的・主体的に学び続け、自分で道を切り拓ける人物
- ②社会の変化に対応できる広い視野をもち、率先して動く自立した人物
- ③地域、歴史、自然、産業、伝統文化に対する深い理解をもち、誇りに思える人物

#### 八丈学で育てたい生徒

- ① 八丈島に戻ってきて、地域を盛り上げる生徒
- ② 八丈島の外から、島の良さを発信する生徒

#### 八丈高校の探究サイクル（共通言語）



#### 地域協働事業の体制

東京都教育委員会・東京都立八丈高等学校（全日制） 令和 4 年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）

### 八丈やろごんプロジェクト～八丈島を支える人材を地域とともに育てる～

「やろごん」とは八丈言葉で「やろう」という意味

**現状1** 生徒アンケート結果より

- 「島に戻ってきて」58%
- 「島外から島の良さを発信したい」72.5%

当事者意識の向上  
 将来島分の住んでいる地域に誇りをもちたい

**現状2** 高校魅力化評価システムの結果

八丈島の大人と子どもも意識の風は 感じつつある

運営指導委員会  
 東京都教育委員会  
 八丈町教育委員会  
 島外コンソーシアム  
 東京都立八丈高等学校  
 東京都立東島高等学校  
 東京都立西島高等学校  
 東京都立南島高等学校  
 東京都立北島高等学校  
 東京都立東三島高等学校  
 東京都立西三島高等学校  
 東京都立南三島高等学校  
 東京都立北三島高等学校

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組  
 『八丈言葉』『地域探検』『おひなまつり』『夏祭り』『八丈言葉』『シメジ』等

事業対象学科の生徒 (2022年4月1日時点)	学校全体の生徒数 (2022年4月1日時点)			
	1年	2年	3年	計
普通科	41	39	40	120
併合科	5	2	1	8
家政科	3	2	7	12

カリキュラム開発等専門家  
 東京都立八丈高等学校  
 東京都立東島高等学校  
 東京都立西島高等学校  
 東京都立南島高等学校  
 東京都立北島高等学校  
 東京都立東三島高等学校  
 東京都立西三島高等学校  
 東京都立南三島高等学校  
 東京都立北三島高等学校

### (2) 八丈学Ⅱ（普通科 2 年、総合的な探究の時間 1 単位）

地域の実態を踏まえたより現実的な探究学習を行い、解決策の提案を行う島民会議を実施する。1 学期には、1 年次に行った八丈島に関する基礎的な学びを基に、学びを深めるとともに、生徒の主権者意識を高めさせる工夫を行う。2 学期には、他県のまちづくりシンポジウム等を参考に地域と学校が一体となって、八丈島の未来について考え、地域課題の解決策の提案の場として「島民会議」を開催する。3 学期には、発表活動及び都内高等学校との交流を行い、自己理解や地域の特性・課題に気づく力をさらに育成する。

#### 主な活動

- 1 学期：探究の手法等を用いて、探究テーマの決定。フィールドワーク
- 2 学期：フィールドワーク、プレ島民会議（中間発表）、島民会議
- 3 学期：成果発表交流会、プレ個人探究



令和 3 年度島民会議の様子



令和 4 年度島民会議ポスター

### (3) 八丈学Ⅲ（普通科 3 年、総合的な探究の時間 1 単位）

島民会議で出された課題や自己の進路を基に、個別に研究の実験やフィールドワークを行う。課題の実証や実現の可能性を具体的に検証する。個別探究課題の解決を図ることを通じて、自己の生き方や未来を考えることで、当事者意識を醸成し、課題発見・解決能力や将来設計能力を育成する。

#### 主な活動

- 1 学期：探究手法、進路から探究テーマの決定、中間報告会（併合科と合同）
- 2 学期：個人探究活動、最終発表
- 3 学期：研究紀要の作成



授業の様子



生徒の研究例

## 4. 成果と今後に向けて

### (1) 成果

- ・生徒の主体性が増加した。
- ・八丈島の島民としての当事者意識が向上した。
- ・進路活動への取り組み時期が早くなった。

### (2) 課題

- 八丈学Ⅰ～Ⅲの各探究活動における課題設定や調査方法など、探究を深めるより一層の工夫が必要である。
- 【八丈学Ⅰ】調べ学習の要素が大きいため、より探究を強める内容にする。
- 【八丈学Ⅱ】島民会議に至るまでに、ディスカッション等により課題を深める。
- 【八丈学Ⅲ】探究テーマが定まらず、進路活動によりテーマを変更する生徒が複数いた。

### (3) 今後に向けて

- ・全教員が探究活動に関わるカリキュラム作りと定期的な研修・各学年での報告会を実施する。
- ・八丈町全体が地域探究学習に関わる、コンソーシアムを構築する。
- ・校内研修を実施し、探究活動や本事業への教員間の共通認識を更に高めていく。
- ・地域協働学習実施支援員の定常的な雇用を確保する。
- ・八丈支庁、八丈町と連携し、八丈島の小学校、中学校、高校で系統的な探究学習をする。

## 5. 参考文献・URL

- (1) 文部科学省、地域との協働による高等学校教育改革の推進、[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kaikaku/1407659.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1407659.htm)
- (2) 文部科学省、地域との協働による高等学校教育改革推進事業、[https://www.mext.go.jp/content/2022-0606-mxt\\_koukou\\_02-100002275-2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/2022-0606-mxt_koukou_02-100002275-2.pdf)

## 6. 謝辞

本事業において、文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付高等学校改革推進係、東京都教育庁指導部高等学校教育指導課、帝京大学教育学部教育文化学科学増進達夫教授、運営指導委員として、東京都八丈町教育委員会茨手木清教育長代理、林薫氏、長田商店長田隆弘氏、製菓やたけ大沢氏、八丈町内外のコンソーシアム長、多くの方のご理解・ご協力があり実施することができた。厚く感謝を申し上げます。

#### 主な活動

- 1 学期：八丈島の自然、歴史、文化、産業に関する地域の方からの講演・授業補助・フィールドワーク
- 2 学期：フェノロジーカレンダー作成
- 3 学期：フェノロジーカレンダー完成、成果発表交流会



授業の様子



令和 3 年度作成フェノロジーカレンダー

5. 全国サミット（発表資料）

**令和2年度指定 地域との協働による高等学校教育改革推進事業【地域魅力化型】**

## 東京都立八丈高等学校

# 八丈やろごんプロジェクト！

### ～八丈島を支える人材を地域とともに育てる～

東京都教育委員会・東京都立八丈高等学校（全日制） 令和4年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）

## 八丈やろごんプロジェクト～八丈島を支える人材を地域とともに育てる～

※やろごんとは八丈方言で「やろろ」といふ意味

**現状1**

生境アンケート結果より

- 「島に戻ってきたい」 58%
- 「島に帰りたい」 58%
- 「島に帰りたい」 58%

当事者意識の向上  
事業自身の住みやすい  
地域に役に立ちたい

**現状2**

高校時代に課題意識を持つ生徒の増加

～八丈島の本人と子どもたちの意識の高まりが顕著に表れている～

**現状3**

キャリア・プログラム開発専門家  
東京都教育委員会 地域連携推進課

**島内コンソーシアム**  
八丈町 東京八丈支庁  
東京都教育庁八丈出張所  
八丈島運営タナミナビル（株）  
八丈島物産ビルセンター  
東京都（島） 八丈島観光協会  
ちよんこめ作農社  
八丈島文化協会 八丈高校PTA  
八丈島文化協会 八丈町商工会  
八丈島文化協会 八丈町商工会  
八丈島文化協会 八丈町商工会  
八丈島文化協会 八丈町商工会  
八丈島文化協会 八丈町商工会

**1年生 気づく**

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

学年	1年	2年	3年	計
普通科	41	39	40	120
専攻科	5	2	1	8
併合科	3	2	7	12

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

2

## 八丈高校グランドデザイン

- ① 目標の実現のために、自主的・主体的に学び続け、自分で道を切り拓ける人物
- ② 社会の変化に対応できる広い視野をもち、率先して動く自立した人物
- ③ 地域、歴史、自然、産業、伝統文化に対する深い理解をもち、誇りに思える人物

**八丈島で育てたい生徒像**

- ① 八丈島に戻ってきて、地域を盛り上げる生徒
- ② 八丈島の外から、島の良さを発信する生徒

探究サイクル

探究サイクル

気づく → 伝える → 深める

**気づく**

八文学 I  
(学校設定科目、1単位)

フェノロジーカレンダー  
～八丈島の季節の暦の作成～

『自分に誇りをもつ』

**深める**

八文学 II  
(総合的な探究の時間、1単位)

島民会議  
～八丈島の課題解決策を提案～

『当事者意識の醸成』

**伝える**

八文学 III  
(総合的な探究の時間、1単位)

個人探究  
～八丈島を地域開発する取組の実践～

『島を支える力の育成』

探究サイクル

探究サイクル

気づく → 伝える → 深める

学年	1年	2年	3年	計
普通科	41	39	40	120
専攻科	5	2	1	8
併合科	3	2	7	12

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

【高校入学前の土台】八丈町立小学校・中学校における取組

4

3

成果	
<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校のことを地域が理解しやすくなった。</li> <li>地域の意見を取り入れやすくなった</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元である八丈島への理解が深まり自己理解にも繋がった。</li> <li>他校との交流を通して八丈島の魅力を再発見できた。</li> <li>一部ではあるが教員の八丈島への理解が深まった。</li> </ul>
<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多世代交流のきっかけとなった。</li> </ul>	<p><b>八丈町など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員や教育活動に対する理解が増えた。</li> <li>生徒の成長を助けてくれるようになった。</li> <li>探究活動等が協力をしてくれるようになった。</li> </ul>
<p><b>学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業（探究活動）に地域の視点をいれることができた。</li> <li>教員が支援員（地域）に相談することができるようになった。</li> <li>学校が地域に出やすくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自主的に動くようになった。（部活動、進路委員会）</li> <li>探究活動を教員・生徒ともに楽しむようになった。</li> <li>学校（教員）が地域に関わるようになった。</li> </ul>
<p><b>視点</b></p> <p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>	<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>
<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>

課題	
<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裁量がなく物事を進めるのが難しい。</li> <li>仕事とコーディネーターの両立。</li> <li>勤務体制（東京都の基準）</li> <li>教員との役割分担（八丈学授業、地域協働業務）</li> </ul>	<p><b>八丈町など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中、長期的に関わる地域の方が限定的。</li> <li>コンソーシアムによって関わる団体、関わらない団体がある。</li> <li>八丈学の認知度が低い、または否定的な意見がある。</li> <li>PTAの八丈学への関わりが弱い。</li> <li>地域協働事業を継続するための理解（資金、財源、情報共有の方法、業務の精選）。</li> <li>八丈学を中心とした、教科横断的な取組。</li> </ul>
<p><b>学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探究性（難しい課題に取り組み）、社会性（ボランティア等への取り組み）が弱い。</li> <li>普通科・家政科・園芸科の探究活動の関わりがない。</li> <li>全教員が探究活動に関わる。</li> <li>探究活動の共通認識、情報共有の方法、業務の精選。</li> <li>八丈学を中心とした、教科横断的な取組。</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の負担が大きい。</li> <li>情報共有の仕組みが弱い。</li> </ul>
<p><b>視点</b></p> <p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>

今後の展望	
<p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレキシブルかつ教員が把握しやすい勤務形態の確立させざるべき。</li> <li>人員変更があっても、地域協働が持続可能なデータベースを作成する。</li> <li>さらに職員室の一員になる。</li> <li>八丈島の探究学習の専門家になる。</li> <li>小学校、中学校、高校を一貫して関わる地域協働学習実施支援員になる。</li> </ul>	<p><b>八丈町など</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校、中学校、高校の系統的な八丈島の探究的な学びを実践する。</li> <li>八丈町、コンソーシアムとの体制をさらに強化。</li> <li>PTAが探究活動に参画する。</li> </ul>
<p><b>学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>八丈学を中心とした学校。</li> <li>普通科・家政科・園芸科・定時制・青鳥特別支援学校八丈分校室、5つの連携を生かしたキャリア教育の推進</li> <li>広報活動（八丈島と東京都全体）の推進。</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方が気軽にかかわってもらえる仕組み、場作り。（地域交流スペースなど）</li> </ul>
<p><b>視点</b></p> <p><b>地域協働学習実施支援員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>	<p><b>八丈高等学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習活動</li> <li>② 学習環境</li> <li>③ 自己認識</li> <li>④ 行動実践</li> <li>⑤ ワールド・インパクト</li> </ul>

生徒・島民・教員が「八丈島」ってすごいな「八丈高校でよかったな」と思える学校にしたい

ご清聴ありがとうございました。

八丈高等学校ホームページ (地域協働のページ)  
<https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/news/yarogen/index.html>

年間の資料、公な発表について

やろこん！ プロジェクト Twitter  
<https://mobile.twitter.com/8jogaku>

日頃の授業等の活動配信！

令和4年度  
文部科学省指定事業  
「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」(地域魅力化型)  
研究開発実施報告書 第3年次  
令和5年3月発行

編集・発行 東京都立八丈高等学校  
〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷 3020 番地  
TEL 04996-2-1181 FAX 04996-2-3538  
HP <https://www.metro.ed.jp/hachijo-h/>

印刷・製本 有限会社 新星舎印刷所



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。